京城日報
二日夕刊
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
印刷人 小川三之介

支那の形勢

▲張勳氏等復辟決行

一日午前三時康有爲、張勳、梁鼎芬氏等は復辟を決行し△氏は同三時黎總統に退位を迫りたるが宣統帝は愈即位して張勳氏の兵之を警衛し居れり（北京特電）

▲宣統帝即位

七月一日を以て宣統帝即位の宣言下り張勳、江朝宗兩氏の兵は四面に出動し黎總統は退位に就き協議中なり（北京特電）

▽宣統帝上諭

宣統新帝は上諭を發し黎元洪の國政奉還の請願を容れ自ら政事を執る旨を宣布せり（北京電報）

▲政務省長以下任命 黎氏は一等侯爵に

復辟は愈々實行され官制は總て光緒の制度を用ひ政務省長、北洋大臣に張勳氏を外務署長に梁敦彥氏を陸軍省長に雷震春氏を交部省長に張鎭芳氏を任命し黎元洪氏を一等侯爵に封せり（北京特電）

▲總統府混亂す

三十日來總統府は大混亂を演じ宣統帝の師傅梁鼎芬氏は黎總統に退位を迫りて已まず黎總統は死を以て共和に殉ぜんと云ひ王士珍氏は默して一言も發せず憂色府内に滿てり（北京特電）

▲黎總統全く孤立す

黎總統は張勳の復辟宣言に驚愕措かず一日朝緊急會議を開かんとせしも一人の寄付く者なく全く孤立の狀態に陷れり（北京特電）

▲林公使に復辟通告

張勳の特使は一日朝林公使を訪問し復辟實行を告げ今後新政府は日支親善の方針を以て進む可し當局者は國内の紛亂を防ぐ事に大なる注意を拂ふ可しと告げたり（北京特電）

▲戒嚴狀態の北京

北京全市は目下戒嚴狀態にあり殊に張勳氏の私邸と宮城との間には巡警軍統領十二聯隊兵士半間毎に配置され宮城附近は通行を禁止し電報局は張勳の兵占領し人心恟々たり（北京特電）

▲林公使觀傍態度か

林公使は一日朝宣統帝擁立に關する張勳の通告を接受せり公使は依然政府の支那内政不干渉主義に基き暫らく北京政局の推移に對し傍觀の態度を執るべしと傳へらる（北京電報）

◎拓殖局官制發布期

新設せらるべき拓殖局官制並に長官以下職員の任命は七月十五日頃發表さるべし（東京電報）

◎田中次長山公訪問

田中參謀次長は一日小田原古稀庵に山縣公を訪問せるが時局柄多大の注目を惹けり（東京電報）

◎杉檢査院課長

會計檢査院第三課長杉榮三郎氏は南山、開口兩書記を随へ二日午前三時半高麗丸にて來釜同十時半發列車にて京城へ向ふ（釜山特電）

◎岡村製糖重役

日本製糖會社重役岡村左右松氏二日朝來釜午前十時半發列車にて京城へ向ふ（釜山特電）

◎戰時行政調査

内務省にては時局に鑑み昨秋來歐洲各國に於ける戰時行政調査に着手し同時に本邦各都市及び農村に於ける民力調査を開始し本年七月を以て其の第一調査結果を公表する筈にて爾來調査を急ぎつゝあるが同省にては更に是が調査を繼續し最近本邦都市及び農村經濟財政並に地方勞働者の狀況生產資金運轉の狀況等に就き第二調査を行ふことに決定したり（東京特電）

◎露蒙新借款訂結

倫敦駐紮露國代表者ミルレル氏は近外蒙古政府と三百萬留の借款を訂結したるが其内容は左の如し

（一）露國政府は外蒙古政府に露貨三百萬留を貸與す可し但し利息は附せざる事を聲明す

（二）露國は訂結の日より毎月五十萬留を交附し六個月にて了る

（三）蒙古政府は此項借款を以て財政整理、警察組織、軍隊設置及兵隊教官聘用の用途に充つ可し

（四）蒙古政府は借款用途に關しては先づ露國代表者と商議し其允許を得て始て實行す可し而して露國代表者が若し第二項所定の用途に就き疑義ありと認むる時は該項下の支出を拒絶するを得又毎月の支出總額は露國よりの交附額に超過するを得ず

露國は國運を賭する歐洲戰爭に參加しながら昨年來頻次外蒙政府と借款交涉を開きつゝあり目下露國の財政は殆んど破産に瀕せるにも拘らず猶斯る借款に應ずるは甚だ豫府の觀あるも亦以て同國の外蒙經營の志望の異常ならざるを觀るに足る可し該訂約は已に調印を經たりと報せらる（哈爾賓）

◎川上理事使命

數日前川上滿鐵理事が露都に向ひたることは既報の如し同氏は目下時節柄同國鐵道運輸の狀況及び情況視察にあるも別に重要なる大使命あり今之れを詳細に發表するを得ざるも東清鐵道南線讓渡問題の如きも亦其有せる大使命の一なりと云ふ（大連）

◎南滿製糖其後

南滿製糖會社の工事は其後大いに進捗し建坪敷地一千坪總四階建の大工場は過般上棟を行ひ機械の基礎工事等の建物も其基礎工事を完了し事務所社宅は已に完了に近づき其他井戶直徑十二尺のもの二箇所は已に三個所掘下げたり斯くして一方機械の到著を待ちつゝあるが一方甜菜其後の發育狀態は過般降雨ありしを以て概して良好にて殊に三日前の雷雨は陳利屯、蔡家屯地方の高燥場所にも潤を與へたり唯だ北方に到りては降雨猶甚だ不足なるも昨年來の降雪多かりし爲め土地は可成りの良好に水分を有すれば左したる影響もなき見込なりといふ

◎黑省牧畜公司計畫

黑龍江省は土地肥沃水草肥茂し牧畜地として最も優勝の地なれば此際畜牧公司を組織し日々凋弊しつゝある各旗蒙民をして之に從事せしめ歐米の牧畜法を採用し良種を選配して家畜の改良繁殖を圖るべしとの議熟し目下資本金の蒐集に從事しつゝあり（呼蘭）

◎政務總監招待

山縣政務總監は四日午後四時より目下開會中なる郵便局長會議關係者一同を總督官邸に招待茶菓の饗應をなすことゝなれり

◎鐵道局の昇給 併合のため二千餘名

鮮鐵の滿鐵委任經營に伴ひ鐵道局にては六月三十日附にて任官者十一名及雇員傭人二千餘名の大昇給を行ひたり尚ほ從來より特に昇進せしもの十名ありと

◎遞信の三會議

遞信局にては二日も引續き午前中主要郵便局長會議を開きたるが午後は海事出張所長及び管掌郵便所長打合會を開き各地長官以下各課長列席したり

◎調査局判任減員

臨時土地調査局にては保擧地に關する事務の縮少に伴ひ判任の減員を行ふ事となり三十日附定員一千二百名を一千九十三人に改定したるが同日附而用書記以下七名に免官の辭令を交付したりと

◎商品擔保貸高

總督府調査に依れば五月末日現在に於ける商品擔保銀行貸出高左の如し

▲朝鮮產品

品名	數量	貸出金額
米	四、七九五石	三一一、八四二
大豆	一八八、九八一	二、二五〇、九七二
[illegible]穀	四五、四七二	六九三、三四八
[illegible]皮	六四、一一八	四一〇、六五一
[illegible]布	五二、二〇二	三五七、〇一九
[illegible]花	五六、七三斤	二七七、八二七
[illegible]	一二六、〇五疋	三九、二四八
[illegible]	一、五九八斤	三二、四三八
[illegible]	一〇、三三六	一八五、一二六
[illegible]	二一、七九九	一〇七、九〇〇
[illegible]	六、六四九	五六、七九三
[illegible]	八、五五二	七八、八六〇
木材	二五、六九五	七九、九〇〇
雜品	—	三五八、三二五
計	—	五、二四〇、二四九

▲輸移入品

品名	數量	貸出金額
[illegible]	一、一四七	[illegible]
[illegible]	二、一四〇	[illegible]
[illegible]	二、七三〇	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]
雜品	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

合計・對前月增減（△）・現物保管・倉庫業者保管 [illegible]

而して擔保總貸出五千五十六萬八千二百一圓に對する商品擔保貸出割合は一割三分一厘とす

◎歸京後の李王殿下

去る二十八日長途の御旅行を終へ無事御歸京あらせられし李王殿下には兼て非常に萬事御記憶好き御性質なるが當日德壽宮に御立寄り相成りし際は李太王殿下に對し御發途以來の經過、內地帝室官民の歡迎優遇等詳々として順序を追ひ詳細御報告ありしには近侍者の驚き一方ならざりし由又太王殿下にも非常の御滿足にて內地人士の熱誠を深く感謝の御模樣なりし由尚ほ李王殿下は長途の御旅行も何の御障りなく翌日山縣政務總監の御機嫌を伺ひ申上げし際の如き毫も御疲勞の樣子なく甚だ愉快の旅行なりし旨御話ありし由に聞く

◎宇佐美長官歸任

大典記念として新に大邱に建設されたる慶會館落成式に臨場の爲め同地に出張中なりし宇佐美內務部長官は二日午後九時南大門驛著列車にて歸任す可し

◎松永長官出張

松永京畿道長官は二日朝九時四十分發列車にて[illegible]共同販賣並に郡內狀況視察の爲め同地に出張したるが同夕[illegible]

◎杉檢査官入京

杉檢査官は二名を隨へ二日朝釜山を出發せり同日午後九時南大門驛著入京す

◎佐藤軍醫部長動靜

佐藤軍司令部軍醫部長は龍田二等軍醫、部三等藥劑正、安部一等看護長を隨へ鮮滿南北道各地駐屯部隊衛生業務の檢閱並に職用衞生材料定期檢査の爲め去月十六日龍山を出發したるが今日までの經過は元山、羅南、鏡城、會寧、鍾城、穩城、訓戎、慶源、新乾原等の檢査を畢り一日午後新阿山到著二日同地守備隊を檢閱し三日慶興四日古邑各守備隊を檢閱し五日成鏡丸にて雄基灣出帆元山に向ふ筈なるが此の旅程を辿る時は豫定よりも二日間を早むることゝなるべしと

◎講習警部見學

二日講習を終了せし警部二十名は午前十一時警務總監部に至り小熊警部指揮の下に操縱せる喞筒及び附屬器具を見學し終つて警察犬の活動を見學せり

◎クリスチー氏來鮮

京奉鐵道奉天醫院主任醫デー、クリスチー氏は夫人同伴七月五日奉天發東上[illegible]

◎輕鐵使用認可

京城古城管堂氏の經營に係る忠南青陽郡赤谷面所在の鐵山專用手押式輕便鐵道は本年四月中旬起工し五月末竣成を告げたるにより過般當局に對し使用認可申請中なりしが六月三十日附を以て認可ありたりと云ふ

◎警務部打合會

京畿道警務部にては二日午後一時より恒例打合會を催せり

◎在鄉軍人懇話會

在鄉軍人京城分會にては二日午後七時より憲兵隊集會所に於て會員小竹軍曹の送別會を兼ね懇話會を開催せり總督府よりは高橋武官臨席歐洲戰亂に關する講話ありたり

◎江原度量衡檢査

江原道廳に於ては南部十二郡に於ける郡所在地度量衡檢査の爲め道書記吉田秀氏を派遣中なるが洪川、橫城、原州三郡に於ける檢査の結果は極めて良好にして使用を禁止すべき量衡は約六百個中僅々三十餘個に過ぎず不合格の多くは使用上の自然破損又は差狂ひを生じたるものにして故意に不正品を使用せるものなかりしとは喜ぶべき現象と云ふべし尚ほ今回の檢査施行を機とし各普通學校生徒に對し度量衡の性質取扱法其他必要なる講話を行ひたるに多數有志の參集あり該器の普及上大なる効果を得たるが如し（原州）

◎長春雜信（二十九日發）

▲川上理事曰く　渡歐の途次當地を通過せる川上滿鐵理事は語つて曰く東京滯在中吉會鐵道速成會代表者と云へる人に會見せるが同人は頻りに吉會線の經濟的有利なる所以を述ぶ『即ち該鐵道の敷設を見んか、間島の產物は必らずや同鐵道に據るべきを以て決して收支の償はざる憂ひなし』と苟も此の如きものゝ代表者の語としては餘りに淺見なり同鐵道布設には今少しく大なる目的が存在すべきなり、間島の產物の如きは兩三日にて運送し了るべしとて笑ひ居たりき

▲滿鐵運輸部移轉　滿鐵本社が大連に在るは我が勢力が北進せる今日所を得たるものにあらずとて二三年以前より已に本社奉天移轉說をなすものありしが、愈今回鮮鐵併合の結果は益々其の必要を感じ居るも何分あれ丈の機關を直ちに奉天に移すは第一家屋其他の關係もあり急速の實行成り難きより先づ運輸の首腦を奉天に移す事に略決定し居るものゝ如し、それは川上理事の所謂其の他滿鐵要部の間言なれば運輸部の移轉は遠からず實現を見るに至るべし

▲在米露人歸國盛　在米露人にして革命を企て時利あらずして或は追はれ或は自ら逃れて南米方面に亡命し居たる革命黨員は祖國今日の狀態を目睹し、何れも凱歌を奏して歸國する者相次ぐの有樣なり本日も赤色革命旗を擁せる四十餘名の一團米國より歸國の途に就けるが彼等は長春驛頭に於て革命歌を高唱し革命旗を打ち振りウラーを連呼しつゝ勇ましく出發せり

▲兩鐵併合發表期　國澤副總裁と共に京城に出張し本日歸長せる小日山驛長の語る所によれば鮮鐵併合發表は多分七月中旬頃となるべく鮮鐵の總ての機關には何等の變動あらざるべしと語れり▲露紙の出兵說　露紙は數日來突然露貨の引戾しを見たるより之れが原因を調査せるに哈爾賓方面に於ては露字新聞が日本出兵說を掲載し尚日本より強硬なる警告來れるより戰場に在る軍隊が滅獨の決心を固めたるによると傳へらる（長春）

◎日本の功績を激賞す 日本協會副會頭の演說

日本協會副會頭アーサー、ジョージー氏は六月二十七日同協會の席上に於て演說して曰く『日本の現戰爭に盡せる偉大なる事業を我が公衆及び新聞紙の知らざるは遺憾なり之れ獨探の離間的浮說に誤られたる結果に外ならず、日本陸軍の靑島を陷落せる功績は言はずもあれ其の陸軍の現存せる事其のことが既に聯合國にとりて重大なる効果ある事は言ふ迄もなし又日本は戰爭の初期に於て直に九十萬の小銃を露國に還附し之を輸送するに當て曾て露國より受け取れる戰鬪艦一隻、巡洋艦二隻を用ゐ其の返濟を不必要とするの好誼を示せるは大に賞讚に値すべし』云々（倫敦電報）

◎釜山氣溫上騰す

釜山に於ける昨今の天候は梅雨季に入り居れる爲め二十日以來は毎日霖雨又は曇天にて鬱陶しかりしに三十日は朝來快晴にて南東の微風より氣溫頓に高度を示し最高華氏八十二度九、最低六十九度四に昇り本年に入りての最高溫度なりき釜山測候所の觀測に因れば右は素より一時的の變調に過ぎず未だ雨季を經過し居らざれば此後當分の間は快晴打續くことなかるべし

◎露國下院解散拒絕

露國下院は議會解散の請求を拒絕せり（露都電報）

◎希臘の對獨墺斷交

希臘は獨逸墺太利、土耳古及び勃牙利との國交を斷絕せり（紐育電報）

◎仁川

▲米檢查廻著米　六月中米檢查廻著米は一萬九千〇三十三叺にして五月中の一萬六千二百〇六叺に比較すれば約三千叺の增加にして奥地方の在米薄を傳ふるに拘はらず前月寄り以上の增加を見たるは黃海道の貯藏米分の餘裕あるに因し聞に同地方面の積出時季に入りたる者と見て可なるべく今日の如く米價の沸騰せる場合從來多少共貯藏せる農場より廻送する等の關係もあるべし

▲檢米成績　六月下半月の檢査總數は七千二百〇六叺優等千六百十二叺上格九百六十九叺下格四千六百二十四叺にして五月下半月總數一萬二千七百六十叺優等百五十一叺上格六千五百九十一叺下格六千十八叺に比すれば總數に於て五千五百十四叺の減なりと雖も檢査成績は前期同樣の好成績にて今期優等の增加せるは主として農場より廻送したるを更に阪地市場に移出したる結果に外ならず近來不合格品を出さず漸次良好なる農家の注意も加味し又各調製業者の自覺に依れる者と信ず中白米は相變らず大連向き輸出にして軍用米も此方面にして他は悉く阪地なり

▲機業分場始業式　恩賜授產京城機業所仁川分場は山手三丁目に設置され愈七月一日より始業の筈なりしも當日は日曜にて二日仁川府廳樓上に於て始業式を擧行し道よりは[illegible]京城機業所所長其他府參事府吏員臨席したり

◎群山

▲商議總會　群山商業會議所にては二日午後三時より商議員總會を開催し大正五年度決算承認の件を附議する筈なるが席上大阪の會議所より委託せる大澤會頭上阪の序を以て商船本社に對し群山寄港定期船回數復活交涉顛末の報告ある由なるが船舶拂底の此の際直に復活の見込無きものゝ如し

▲府尹歸群　天野府尹は群山學校組合大正六年度豫算の件に關し千々松庶務主任を從へ本府當局に陳情要務を帶び頃日來上京滯留中なりしが二十九日歸任せり

▲客月米檢　群山米穀檢查所五月中檢米總量は二萬五千五百五十叺にして客年同月に比し一萬餘叺の增加を示し本年は米價高騰の結果斯の如く前年同月に比し約四割の檢米增加を來したるものゝ如し

人事消息

▲磯部山二氏（三菱社員）▲根本保氏（同上）一日夜入京巴城館へ
▲池部稻生氏（元山土木局出張所技師）二日朝退京
▲岡村左右松氏（日本製糖會社重役）二日夜入京巴城館へ投宿の筈
▲岡正矣氏（京城電氣常務）二日午前東上
▲カチス氏（米國銀行家）一行二十一日午前安東へ

鴨綠江節

筏ローマンス(一)

◇◇夏の大江と大深林◇◇ ◇◇無學詩人の即興詩◇◇

ミルク色なる胡藤の花がホロホロと散りこぼれてそのあとに可愛らしい莢豆形の實を著ける頃になると打ち續く岸の柳の森林が木暗くなつて滿鮮境上を流るゝ鴨綠江には俄に夏が深く成る『夏の鴨綠江』其の名を聞いただけでも如何にも涼しい感じがする、朝鮮の北の空に聳ね立つ長白山の其の麓は方數百里の處女深林に圍繞せられ、萬年氷の融け敢へぬ山上の湖水龍王潭の冷碧なる水が岩の罅隙を溢ふれ落ち滔々と岩角を走り洶湧として深林を縫ちやがて洋々と曠野の中に瀉ぎ來たる其の間の流域二百餘里。川風に戰ぐ岸の青葉には杜鵑と鴨ば

▼夏の午に鶯も鳴く崖の上には

山藤や月見草▲

▼筏や女郎が一時に咲いて

此の流域には夏も客が覗び寄つた例は無い夏の鴨綠江は單に暑さ知らずといふばかりでなく江上には絶ね間もなく流して來る筏が涼しい深山の消息を乘せて來る。此の頃洪水のやうに朝鮮中に流行氾濫した筏節にも此の涼しい流れが乘せて來た可憐な唄である、百五十里乃至二百里の長い間乘り下す筏夫の身に成て見れば

▼勇ましい爭々しい中にも

寂い遣瀨ない▲

▼あんな調子の唄が自然に

生れて來るのも無理では無い永い冬の間、氷雪の中で伐り倒した木材をうして二十五六日も水の上に搖られて漸つと安東縣か新義州に著くのである、此の間の彼等の寂しさは一通りのものではない見上ぐれば兩岸迫つて岩の間から僅かに雲行く空を眺めるやうな谷底を流れ下つたり或は

▼兩岸の深林と爭つた筏と寢ても醒めても

青い水の外に▲

▼何に一つ目に入る物は無く

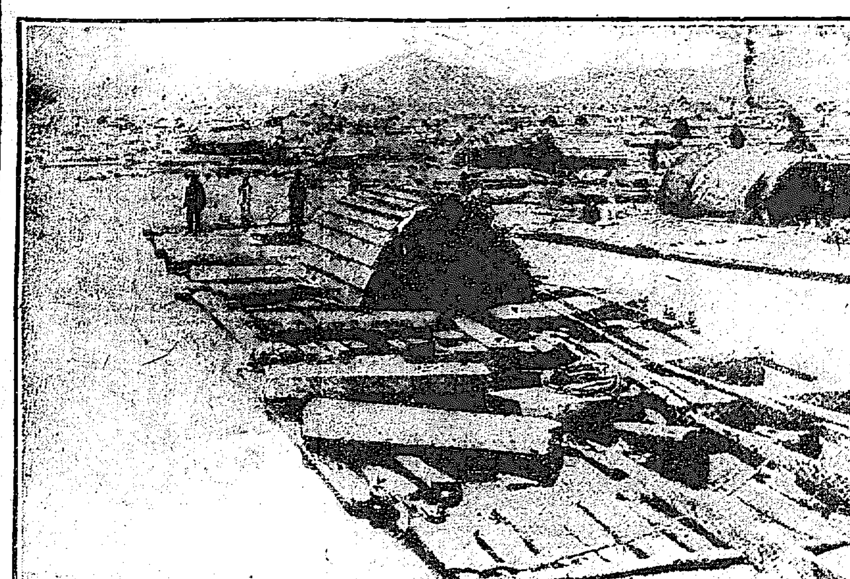
勿論人や家の影などはどんなに戀しくつても見る事は能きない斯んな折りからに川緣近い木立の間に優しい鶯でも啼くのを聞くと彼等は身につまされてホロリと眞黒に雪焦日焦けのした其の頰へ何んとも理由の無い熱涙が流れて來る節くれ立つた太きな手でそれを拭きながら『筏節』を唄ひながらに、瀨を──越せば谷の、鶯、連れて鳴く、筏は矢のやうにヨ──下るほどヨなつかし新義州が近くなる──』と

▼言葉は違ふ節に則して

無學の詩人が▲

▼筏の上に其情緒を即興詩

として唄ひ出せば鶯、岩燕などがそれに合唱する、新義州はなつかしい處である彼等の妻子が首を長くして待つて居る處である



新義州江岸の著筏

◎全燒した 滿鐵貸事務所 損害額と保險

奉天驛前滿鐵貸事務所は廿七日夜出火しさしもの大建築も遂に全燒したる事は既報の通りなるが滿鐵にては地方課及び建築課より社員を特派し損害其他調査中なるが奉天地方事務所より滿鐵本社に達したる電報に依れば火元は隔壁徳校と稱する支那宿にして三階より火を發したるもの〻如く其の原因は未だ不明なれども技局員の語る所に依れば同建築は奉天附屬地發展の爲め一般貸家として建設せられ三階迄合せて

▼六十餘戸に 區畫せられ二戸毎に防火壁を設けて屋根表迄築き上げ屋根は普通鐵板にて築きあれば餘程の烈風ならでは屋根裏を突き抜ける火が防火壁を超ゆる筈なく又窓より火を出したる場合も防火壁を超えて隣りの室に移ることもあるまじと思はるれど多數の防火壁を燒て建物の大半を烏有に歸せしめるは餘程の烈風なりしに相違なかるべし同建物は明治四十四年四月起工し大正元年八月竣工したるものにて滿鐵の建物としては火災危險を附しあるもの少なきに同家屋は一般貸家なれば三井物產取扱に依り日本、共同、東京、橫濱、明治の

▼五保險會社 に各四萬圓宛計二十萬圓の保險を附しありたることとして同建築は本屋建築二十萬五千四百三十圓三十九錢九厘暖房設備四萬一千八百三十一圓零八錢給水設備三百圓九十八錢に達し外に倉庫機關室等に一萬五千三百五十三圓七十五錢計二十六萬二千九百十六圓二十五錢九厘の建築費を要したるものにて保險金を差引く時は差當りの損害額は六萬圓內外なるが其他罹災者の被害程度は倘未詳なりと因に消防夫一名火災中負傷したるも經過良好にして其他數名の輕傷者ある模様なりと

◎東京相撲入掛

東京大相撲四日目千秋樂は朝の程より微雨ありしも開場せしに相當の入場者ありしも十二時過ぎより驟雨襲來のため入掛となり入場者には丸札を出して休場せり

◎巡査派出所前の路上で情婦を斬つて自殺を遂ぐ

男は活版職工=邪推から無理情死

一日午後十一時五分頃京城積善洞巡査派出所前の路上に於て男女の無理情死沙汰あり男は福岡縣築上郡八屋町生れ府內旭町二丁目中島活版所の職工有延和太郎(二三)と言ひ女は和太郎の情婦にして廣島縣沼隈郡栗原村河內嘉藏の姪なる目下西小門町居住賣藥商小坂種吉內縁の妻[illegible]內よねと(二六)云ふ者にて兩名は同夜午後八時頃南大門通青木堂前にて

◆出會し相携へ て人目を避けつゝ散歩しながら此辺りに男より女に情死を迫りたるも應ぜざるより更に歩を移しつゝ前記積善洞の街路を通行中折柄巡廻中なる鍾路警察署橋派出所の巡査補の姿を見たるよねは切りに無理情死を迫らるゝを訴へんとしたるに和太郎は之れを氣味惡く思ひゐたる矢先とて其の旨を遮りて十間計りを行き過ぎたる際隠し持ちたる

◆鋭利なる剃刀 を以てよねの眉間、左腋下に各一箇所、右手に二箇所斬りつけて重輕傷を負はせ女が血煙立つて路上に打倒れたるを見澄まして逃走したり女の悲鳴を聞きつけて振り返りたる巡査補は直ちに加害者和太郎を追跡したるに派出所前にて追ひつかれたるより今は是迄と覺悟を定め鮮血滴る件の剃刀を以て我と吾が咽喉部に深く斬り込み氣管及び動脈を見事に切斷し虫の息となりて昏倒れたり時派出所より急報に接したる鍾路警察署にては直ちに永野署長下村司法主任警部補[illegible]氏が高橋警察醫を伴ひて

◆現場に急行し 其の檢證をなすと共に取敢ず人事不省に陥り居る兩名に應急手當を加へしが加害者和太郎は間も無く絶命したるが被害者よねは稍重態なるも生命に異狀なかるべしと一方京城地方法院檢事局よりは水野檢事書記を隨へて出張の上取調をなし和太郎の屍體は知人に引渡して目下加害者よねは內縁の夫に就き聞くによれば和太郎は之れが原因に就き聞くによれば和太夫あるにも拘らず本年三月より和太郎と不義の關係を結び和太郎は常に夫を離別し自分と同棲すべく強要し

◆既に家迄借入 れある程なるもよねは和太郎に末の見込みなしと餘り乘氣にもならず和太郎を疎んずる傾きある上に頃日よねは知人某の姿にて媽妓上りの女が雲隱れして姿を晦ましたるより同女の搜査方を依賴され居る爲め或は同女が飲食店料理屋等に潛伏し居らざるかと市內方々の料理屋等に足繁く出入することを探知したる和太郎はよねが更に他の情夫を拵へたるものと邪推し嫉妬の業を煮やし居る際警官に對してよねより內幕を饒舌り出されては一大事と決心して件の慘劇に及びたるものならんと

●京都帝國大學法科を卒業した 最初の鮮人法學士李範昇君

京城舊家の出身=大學院に入らん

今回京都帝國大學法科を卒業したる最初の鮮人法學士あり李範昇とて京城舊家の出にして父は忠淸南道燕岐に隱棲し居れり李君は

◆京城の中學 を出で名古屋第八高等學校を經て京大法科に入り法律學を修得し留學約十年日本の書籍を讀破するに不便なし京都市に一戸を借り質素なる自炊生活を爲しつゝあり。君は往訪の記者に語りて曰く『卒業後も二三年は大學院に入り法制史及び

◆日鮮の歷史 を研究したいと思つて居ます、學資の都合もあり父がそれを承諾して呉れるかどうか疑問ですけれど內地人と朝鮮人は太古に遡つて見ると同じ祖先の血を受けて居るに此の大切な事が理解されて居らぬ爲め

◆偶誤解を生 ずる事があるのは歎かはしい事です、私は朝鮮人に普通教育を普及して此の誤解を一掃して矯正開發し度いと思ひます圖書館の設置も必要です、私として一管の筆の力で鮮人を啓發する新聞記者に成り度いとも思つて居ります』と(京都特電)

●馬賊頭目戰死

開原縣楊木林子の秦良于海峯方には去る六月十五日[illegible]は同家にては直ちに表門を閉鎖して防禦し賊等と約一時間に亘り銃火を交じ[illegible]同家の傭人一名賊彈を被夏家堡子より討伐に來れる曾巡官の率ゆる巡警隊と衝突交戰せるが遂に天照廳は戰死せりと(奉天)

逢三郎 三等(六十四名)

七月一日午後二時五分釜山入港さくら丸二三等客

城正中、金井伍次郎、福田宏有、安宅貞吉 三等(百十三名)

●暴風警報(七月二日正午十二時發)

風雨烟かるべし ▲低氣壓位置 [illegible] ▲警文 [illegible]

◎血を見るまで

◇◇◇紅い灯と酒の生活◇◇◇ 淪落女の末路

一端、水死を企てたいさ子は意外にも救はれた、救つた人は開島で旅館を經營して居た××といふものである、いさ子の口から一什始終を聞いて大いに同情を寄せ『然らいふ譯なら俺の處へ來るが宜い』と媼應なしに彼女を連れて歸る事にした、彼女は彼女自身の境遇をふり顧つて見て、この温かい、親切な言葉をどんなに嬉しく思つたらう、彼女は只顔も得上げず歔欷くのみであつた。

回 開島の××旅館に引取られた彼女は、主人夫婦の親身も及ばぬ心盡しに、身を粉にして甲斐々々しく働いた、他の女中に打混つて、膳部の持運びやお給仕は無論のこと、拭き掃除もすれば、帳場も手傳つた、少しでいけれど一寸の虫にも五分の魂はある、生來意地ッ張りの彼女には何うしても主人夫婦の厚遇をその儘甘受するに忍びなかつたのである──

回 以上は私が聞き擦りに聞いた彼女の前半生である、この經歷にけは、恰度暗中を模索するやうに、陰暗な私の過去の記憶を辿つたものだから、多少事實に相違した處があるかも知れぬ、が、大體の梗概に間違ひはないと思つてゐる

回 その動機は、今俄かに思ひ出せぬが、彼女が何うして藝者になつたか、の逸の事情も略ぼ想像されぬ事はない、唯だ築山浦に來る以前、釜山に一寸居た事は確かだ、八雲琴より知らぬ彼女が、藝者となつて現はれたのも大膽であるが、女學生から小間使となり、小間使から旅館の女中となり女中から更に藝者となつた彼女の前半生も亦數奇と云はねばならぬ、

回 『後朝の鐘に向ふ窓の下小夜に秋の風の吹く見ゆ』『鶏を賣る女なりしか吾も亦心にもなく笑ふかなしさ』

これは彼女の述懷である、彼女は紅い灯と酒の生活を實際に經驗して、ドンなにか悲しく淺猿しい事に思つたであらう、が、これも初めの半歳か一年の間で『境遇と時の力』は到底彼女を此儘にはおかなかつた、彼女は終にお誂へ通りの流轉の女、淪落の女となつて了つたのである(つゞく)

讀者文藝(一等に五十錢[illegible])

▲物は付『無くなるものは』

○お婆にあばた(一等) 龍山 多美郎

▲[illegible]

▲ふみ込まれ[illegible] 龍川 隆ヶ岳

▲[illegible] 龍山 赤坊

▲[illegible] 仁川 原東 勇一

◎雨の惠み

高陽郡崇仁面城北里の住民は北漢山の溪流に依り木綿晒しを業となし過般の旱魃の爲め一時休業中なりしが數日來の降雨にて漸く就業するに至れりと

(讀者文藝)課題募集規定

◎募集規程

▲用紙は[illegible] 同形の洋紙一枚毎に住所氏名明記の外に [illegible] ▲種類の [illegible]

天氣 くもり 曇り時々晴れ

商況

◎公債直取引(京東)

深川正米特電

東京期米特電

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

◎絲惑二百圓臺

雜報

◎各取引所の新甫

◎大關門突破

◎綿布未曾有の新値

◎滯貨と取引不振 可能に依然積出し不

◎力非常の減退を示し最近輸送

車僱に五臺 金線配給貨

百五十車の手持

◎麥粉高見越 北滿小麥異常の騰貴

迅速確實 廣告取次

◎一時製造中止

◎北寄貝好況 切上急

乾支那輸出好況

京城正米

京城雜穀

南大門の廻穀

◎鮮內へ移入難 氣配亦益々硬化

◎漢江の出荷 方過ぐ水量充分 荷役に約六七分

◎山城一番茶良好 非常に夥しく頗る良好

◎夏織物切上急ぎ

一番茶の如く產額

釜山穀物(一日)

生魚市場

仁川期米

一日前場(發會強硬)

▲遂に降雨となる

▲期米前途觀

仁川米豆取引所

二日の九月限

三巴仲買店

仁川米豆取引所仲買人

市場零聞

▲發會強硬

依然大下鞘

新甫發會早々盛況を呈し

內外の大下鞘 四百二十丁

▲早魃觀察談

雨見越し貴氣

田中金兵衛

田中金兵衛 定期米穀の賣買 電話 一六二八番

…男來り現金及び彈丸を强要せしかど同家にては之を相手にせず打過ごせしに同十七日の午前十一時と云ふ頃[illegible]名の馬賊押し寄せ來りしか[illegible]りて負傷し賊等は程なく退散し去れりと云ふ次ぎに同縣下夏家堡子附近に出沒せし馬賊頭目天照[illegible]は同地の東南方三十五支里なる豆腐溝に於て

●議會の論戰が活字になる迄
速記録と公報は何して出來るか

議會壇上の演説は宛かも言論の戰跡を語る如くその翌日活字となつて議事記録に殘る、この速記録には印刷局の勞働者が隠れた

▽大きな力を 傾倒してゐる印刷局の官報活版課長は語る『議會が開かれると議事速記録が官報號外として配附される以外、官報自身もその内容を増加するので繁忙を極める速記録の原稿は議會の事務局から日々議會散會と同時に

▽使者の手へ 渡されて活版部へ廻つてくる短時間の內の速記の文字から普通の文字に飜譯された原稿故無論明瞭な筆蹟ではない何が一番困ると云つて此の筆蹟判讀よりも議會散會の時間が一定してゐないことだ、早く散會の場合は苦心を伴はぬが

▽遲く散會と 云ふ時に澤山の原稿でも届いてきたら實に大騒ぎである、現在は平時よりも約二十名の活版職工が請負に依つて増加されてゐる、本會議の開かれた去る二十六日は午前三時に刷上り廿七日は

▽委員會だけ であつたのでそれより早く切上つた、校正は十四五人ゐるが、三度まで校正して校正濟となるが此の校正を誤つた場合は種々の罰則を適用される、輪轉機は二臺備へ附けてある印刷が出來上ると製本、發送となるが遲い時にはそれから此の製本、發送に著手することもある、職工の勤務時間は朝出、午出、夜勤と種々に分れてゐるが要するに印刷局の活動は晝夜の區別がない。次に議事日程や衆議院公報は議院構內の

▽同局出張所 で活字に組んでは印刷してゐる、同所の石黒氏は言ふ『全體で廿四人の職工と一馬力半モートル印刷機一臺、半馬力モートル印刷機五臺が活動してゐる、特別の場合でない以上これだけの能力でどんな多忙も切抜ける

▽原稿の輻輳 せぬ時は遺憾なく休憩時間を休むがイザとなれば此の休憩時間も働く時間となる職工の勤務時間は十時間であるが多忙で夜勤となる場合は一時間毎に給料の一割四分宛を支給する此處の出張所は

▽開期中だけ で平時は活字も機械も置き放して鎖られてゐる要するに一番の苦心は本局とほゞ同樣で原稿の輻輳にあると云ふことだ

轉じて院內の郵便局を覗くとヒッキリ無しに電報發信のカチ〳〵が響いてくる、白國局長は曰く『電信技手二人、郵便事務員二人、給仕二人この中郵便事務員は二人が

▽隔日の出勤 になつてゐる、郵便の方では事務局から出る各議員への通知書が日に千通近くある、廿七日衆議院が五百四通、貴族院が四百四十通で約束郵便と

▽速達郵便と に分けられて出た、約束郵便には大した手數を要せぬが速達には印紙貼用などの用務がつく衆議院の公報は殆んど速達で送られるやうになつたので近來著の苦情が少くなつた、電報の方は今の處一日卅通

▽字數に直し て一千字と云ふ受附數である、受附數一千字と云へば打直し其他で千字以上に昇るのを例とする、此の外到著の電報を請取らねばならぬ到著の電報は大抵院內宛なのを給仕が配達夫の代用して宛名の人を院內に探し廻る

▽給仕の足は これで疲れる、それでもまだ探し當てれば可いがゐないとなると規定上留置く譯にゆかぬので宿所を調べてその所番地受持の局へ打わたす現在の局員は何れも三十八議會の解散日を經た强者で發信二千三百通から受次いだ

▽經驗を有し てゐる發信の際、數葉の頼信紙と紙幣とを持つて字數を勘定した上、金を取つて釣錢は後で貰ふなどと措いて行く代議士もある、之は規定上出來ぬことになつてゐるが此の局も衆議院から

▽便宜上借受 けてゐると云ふ譯で厚意の表し合ひから特別の便宜を計るやうにしてゐる、通常議會より臨時議會の方が開期の短いだけ忙しい(東京)

◉球突相撲 若島と黒瀬川は共によく球を撞く、殊に巡業中暇さへあれば撞球に熱中してゐるのは若島で相撲が濟むと夕飯を濟ましてサッサと玉突場に出掛けコツ〳〵やつてゐる外眼中酒も無ければ女も無いのが彼の可愛い所である、點數は百、またたく上達の見込がある、寫眞は大日本麥酒會社京城出張所の所で此程開業したカフエ、エビス附屬の玉突場に於ける吉田同社京城出張所長二〇〇と黒瀬川一八〇の試合である、黒瀬の隣は若島の見物振り

◉迷信に囚はれ貞女

慶北慶山郡珍良面文川洞に居住せる富田福は久しく癩病を患ひ居たるを同人の妻鶴山は之れを憂ふるのあまり一日も早く平癒せしめんとして自ら股の肉を切り取り夫に饒めたるが附近洞民は互ひに其の貞操を感じ合ひ若干の金子を募り鶴山に施せりと妻として夫を想ふの念に至つては誰しも斯くありたしと雖も股の肉を裂き侑むれば病氣全快するものと信ずるが如きは無智も又甚だしく今後は斯る迷信に囚はれざらんやう一般鮮人の注意を要する事なりと(大邱)

◉大田佛教慈濟會

大田佛教各宗寺院の發企にて大田佛教慈濟會を組織し其の事業として行路病者救護所の經營をなす計畫ありし事は屢々報導したる通りなるが今般漸く具體的の成案を得たるを以て二十八日午後八時より本派本願寺に於て各官衙公署長及び地方有志數十名の參集を乞ひ其の意見を聽取し且つ後援を仰ぐ筈なるが同會の會則によれば同會を佛教慈濟會と稱し大田附近に於ける行路病者を收容救護するを目的とし役員としては理事六名評議員(主事、顧問等)各若干名を置き同會の事業を賛助する者の內毎月五十錢以上一時金卅圓以上を喜捨する者を有功會員とし毎月金三十錢以上一時金二十圓以上を喜捨するものを特別會員とし毎月金十錢以上又は一時金十圓以上を喜捨するものを賛助會員とする筈にして不日地方官民有志の賛同を得て直ちに其筋へ認可申請を爲すべし(大田)

◉桃市に出る

大田附近に於ける果樹園よりは此程早生桃の出廻りを見るに至りたるが例年に比して品質は稍々不良の傾きあるも價格も相當にして市內の需要亦可なりの處なりと(大田)

◉揷秧漸やく忙はし

過日來數日間の降雨ありし爲め大田川の如きも數十日目に始めて濁水滔々たるを見るに至りたる爲め大田郡內一帶の農家は非常に喜び目下揷秧最中なるが山間部落又は水量少なき水田は尙灌漑水の缺乏を訴へ居れり(大田)

渚の砂

▣弱り目祟り目 岡山縣[illegible]郡[illegible]村[illegible]田さわが二十二日田植の爲め牛(一頭三十圓)を路傍の立木に繫いで置いた所其の牛は泥田に落ち込んで往生し其の夕方草を刈つてゐると此度は蛇に咬ひつかれて同女は生命危篤に陷つたさうな

▣死の場所 鎮子夫人が情死を企てた千葉女子師範學校[illegible]の[illegible]自殺者を出した[illegible]日迄[illegible]所だと言はれて[illegible]つて六月二十五日から一名の[illegible]めることゝなり其の[illegible]は近く[illegible]を建設すべく準備中ださうな

▣小刀で刺す [illegible]月[illegible]三郎[illegible]女ふじ(七つ)[illegible]學校一年生だが先月二十五日[illegible]つて居る時に同級生の[illegible]次郎の二女はな(七つ)が邪推[illegible]つて持つて[illegible]た小刀で[illegible]三分の傷を負はせた

▣狹い少女の心 東京[illegible]校本科二年生伊藤あつ子(一八)は[illegible]があり家計困難なるに[illegible]の收入で一家を引受けあつ子は[illegible]つゝある中あつ子は常に病[illegible]の學資に窮することを[illegible]き者にして他の兄弟を[illegible]自殺を企てたが果さなかつた

▣揃つた夫婦 宮城縣[illegible]一九(内縁の妻)[illegible]は揃つた[illegible]科者だが昨年九月[illegible]江の島で捕つた[illegible]に大動位[illegible]

▣孝行嫁の自殺 東京小石川[illegible]の[illegible]孝行嫁だが姑が老衰の[illegible]自殺を企てたのは自分の孝養が足りないのだと思つて其の申譯に[illegible]で自殺を[illegible]つた

◆規則正しい兒童の生活

群山兒童寄宿舍を訪ふ

去る日曜日の午前群山新興洞の閑靜な位置で洋風建築の小く群山兒童寄宿舍の近狀を問ひ寄宿舍に田中舍監を訪れ刺を通じ導かれて先づ應接室に入れば本年の四月新設された群山實科高等女學校寄宿舍へ此の兒童寄宿舍より移された女學生四五名が田中舍監夫妻や宿舍の友の戀しさに訪れ來て大廣間の卓を圍み嬉々としてお話の眞最中であつた田中舍監は群山小學校訓導で頗る教育熱心な人で妻子と共に宿舍の一室に住ひ夫妻心を合せて宿舍兒童の世話萬端をなして居られる田中舍監は宿舍の現狀に付て左の如く語つて居た

▲現在の收容兒童 は高等科一學年生男子四名女子二名同二學年生女子一名尋常科六學年生女子二名同四學年生男女各一名同二學年生男女各二名合計十三名でありますが近く尙ほ新入增加の豫定であります宿舍の兒童は私夫妻と下婢一名を使つて世話を致して居ります兒童の寄宿費は實費計算で毎月一定致しませんが薪炭費の多く要する冬期の最も多額に上る時で一箇月五圓廿五錢見當で夏期の當今は最も經費の減ずる時でありますが本年は米價が騰くなりましたので一箇月四圓五十錢見當になつて居ります學校用品料は學年に依つて相違し復た兒童本人の性質に因つて異ります物を大切にする小供は其れだけ經費を減ずる譯で物を粗末にする小供は一箇月の中に何度も物を遺失したり破損したりするので夫れだけ餘分の經費を要する譯になりますが學校用品其他の物を大切にする事は勿論注意を與へるに怠らないのでありますが本人の自發的注意を促す爲めに

▲各自現金買物帳 を備へ總ての買物は其の通帳に記入させますので同一の物を粗末にして遺失破損し何遍も買ひますと其買物帳の上に歷々と顯れて來ますので流石に小供でも申譯の無い感じを起して自然物を大切にするやうになり確かに其の效果を認められるやうであります斯麼狀態で中等教育學校以上の生徒寄宿舍と異ひまして小學兒童の寄宿舍は七八歲位からの稚童を收容するのですから隨分世話の燒ける事もありますが復た無邪氣で親しみも深く可愛いもので入舍した四五日は父母や兄弟姉妹が思ひ出されて又は宿舍の規則的生活に多少窮屈の感があるやうですが直ぐに慣れて來て大概の小供は入舍後暫くすると反て家庭に在つた時に比較して身體が健全になつて血色も良く體量を增して來るやうになります其れは

▲家庭に在る兒童 は兎角間食が過ぎて胃腸を害したり睡眠が不規則になる弊害が多いやうで寄宿舍の生活は此の點は規則正しいもので小供の事でありますから間食を絕對に禁ずる事は出來ませんが冬期の日の短かい時は一週に二回位菓子を與へ夏期の最も日の永い時になつて隔日位に與へるので入舍當時は此の間食の思ふやうに喰べられぬのは小供として非常に苦痛のやうでありますが間食は總て慣習なのですから四五日も我慢させればなんでもありません此の間食を小供の求むる儘に任せ多く與へる家庭の小供ほど健康の小供が多いやうに思はれます偶々學校休暇の時宿舍の兒童が父兄の家に歸ると大抵の父兄は其の兒童が入舍前の健康と打つて變る體量が增し血色の良くなるのに驚かれるやうで就中父兄の感心されるのは家庭に在りし時朝起きて自己の寢た蒲團を一つ疊まなかつた小供がサッサと蒲團をたゝむと云ふやうな萬事に依頼心を起さず獨立的精神の養はれ居る一事であります然し偶々休暇で兒童が家に歸りますと御馳走が過ぎると見え宿舍へ戾つて來ると大概は胃腸を傷めて居るやうです(群山)

●連絡船上陸客 七月一日午前二時釜山入港對馬丸 一二等客 一等(一名)堤長述 二等(九名)渡邊定一郎、安岡寔、加藤雄一郎、本多禹三郎、橫尾榮、東原喜次郎、舛本秀一、[illegible]、宮川[illegible] [illegible]一等(九名)黑川新次、加藤もと[illegible]國人一名 二等(二十九名)河井義三、山崎敏樹、鈴木しげ、三宅恒方、榎本正一、原修一、藤川德次、加藤長次郎、增田安好、岡本龍太郎、小瀨儀一、後藤國二郎、樂師神四一郎、大村彥安、千葉馨一、赤嶺圓、同すみ、大幸秋藏、野口明、岩崎貞次郎、本[illegible]

方向 東▲警戒區域 平安南北道 黃海道京畿道の沿岸及び內陸
▲下旬付近[illegible]
▲揺める[illegible] 同 五日 同 五日
▲俗謡[illegible] 同 六日 同 六日
▲川柳[illegible] 同 七日 同 七日
▲物は付[illegible]なるもの[illegible] 同八日 同 九日
[illegible]表後一週間以內に創作又は同案發見の通告者には五十錢書籍券を呈す(但し何書何號と明記に限る)▲氏名は京城日報編輯局讀者係

演藝案内

御成座 電話一一九一番 七月一日開演三回目替狂言 一番目悲劇 時雨日記 二番目喜劇 レーデーオペラ

黄金館 電話二六三七 六五三 天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店 特に本館開館一周年紀念特別大興行 六月三十日より 名優[illegible]吉田奈良一口演

▲山科大石妻子別れ [illegible] ▲泰西大滑稽チャプリン皿廻 全二巻 ▲泰西活劇捕縛理の恩(猩々の恩)全三巻 ▲新派大活悲劇櫻咲く國 五味大井一派 [illegible]

大正館の誘惑 連日滿員 暑さに拘らず 愈々今晩限り

有樂館 電話(階上)四七番(階下)二〇五番 早川演藝部 直營 東京小林商會滿鮮一手代理店 米國ユニヴァーサル會社特約 ▲三十日より六日間三大特選寫眞公開 大滑稽 小林商會最新撮影 市川海老十郎一座努力劇 新劇『壺坂靈驗記』(全二巻) ▲米國ユニヴァーサル會社特作世界的連續大冒險活劇 第六『紫の覆面』第十一篇、第十二篇 [illegible]

壽館 京城 電話一〇五三 巡業中の二代目桃中軒雲右衛門一行 近日乘込み開演仕候

稻荷座 本町五丁目 本年一月興業以來好評嘖々…當地に於て非常なる人氣を博せる[illegible]好評再演…

大正館 櫻井町 電話八七三 [illegible]

日本麻絲紡織株式會社賣出

賣出株數 一千株(額面五十圓)
拂込金額 一株に付金拾貳圓五拾錢(拂込濟)
賣出價格 一株に付金[illegible]
契約頭金 一株に付金八圓也
[illegible]
余合資會社 桐生屋株式店 電話[illegible] 振替口座東京[illegible]

醇良淸酒 仁川本町四丁目 吉金酒店 電話七六四番

⊙社員募集(日鮮人) ▲希望者は各地所在事務所へ來談 明治公債株式會社 朝鮮台灣 中國九州營業本部 釜山谷町二丁目(電話三七七番)

ちる 櫻谷質舖 京城北米倉町三六(舊前小路)電話二八五四番 抵當ヲ守リ[illegible]精々高價御預リ可申候也

廣告 弊店儀今般整理上必要有之債權未整理の分は御手數ながら來ル七月四日迄に御申込被下度萬一右期日內に御申越無此場合は任意處分致候間御承知置被下度候 仁川 森伸買店

しんぞう 病者は横山博士 發見不思議の靈藥あり郵券三錢送れ詳報す 播州明石町 横山廣博齋

六月二十一日、二十二日發行本紙廣告左官材料値上廣告中京龍仁左官材料販賣同業組合とあるを京龍仁左官材料販賣組合に付訂正す

廣告 當會社所有釜山埋築地發展のため本年中に於て家屋建造の方に對し六ケ月以上一ケ年以內地税を除くの外無償貸付けを爲す尙家屋建造資金融通の便法も有之候 詳細は御來談を乞ふ 大正六年六月 朝鮮釜山府高島町十四番地 釜山埋築株式會社 電話二八一番

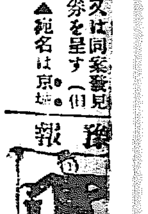
內科小兒科 婦人科眼科 二元堂醫院 京城南山町二ノ四六(三越合宿所上)電話一壹二四番 小山亨

雨具一切 □柳製專賣品トランク □雨合羽防水布引マント □魔法瓶及中瓶取替 □其他旅行用具一切

高木旅行用具店 京城本町一丁目 電話一三四番

▽朝鮮ノ行政區劃一覽出ヅ▲ 司法大臣松室致閣下題字 國學院大學教授法學博士 井上毅 原嘉道先生序文 新舊對照 朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽 大正六年四月十日現在總クロース金文字入菊版千百五十頁定價金參圓 是日總督府及各道廳ニ於テ一大廢合セラレタル府郡面里洞、ト舊臘決了シタル土地調査局ノ調査ト相俟テ朝鮮全道ノ行政區劃ハ確定セリ然レトモ未タ一目瞭然タルノ書籍ナク執務上不便此上ナキ折柄本書ヲ編纂セリ本書ニハ道、府、郡、島廳及面事務所ノ所在地ヲ示シ末尾ニ朝鮮ノ沿革、日、鮮、淸、西暦ト、詳細ナル對照年號ヲ示シ官廳數、各道ノ府郡、面數、人口、戶數、道路、里數、各道ノ風俗、交通、產物、名所舊跡、溫泉其他ヲ掲ケリ、各官廳ヲ初メ政治家、實業家、學者、交通、產業其他荷モ朝鮮ニ關係ヲ有スル上ノ須臾モ缺クヘカラサルノ必携書ナルコトヲ疑ハサルヘシ此際ニ價ニ等シキ價格ヲ以テ發行セリ部數ニ限リアリ諸賢速ニ購求セシレンコトヲ請フ

發行所 京城府公平洞五番地 電話一四五〇番 中央市場



▲京城溫度 [illegible]

商品仕入代辨 一、一般商品御仕入の代辨 二、諸機械器具其他の物品日用品買入の代辨 三、生產品販賣の代辨 右の外商事に關する交涉其他一切の代辨に取扱可申候間多少に不拘御用命奉願上候 東萊溫泉 接延地水田十斗落分至急賣却す希望の御方は御照會被下度候 大阪市東區備後町二 電話 本局二七九一番 北局九二八番 大阪商事社

●十錠廿錢五十錢 有名なる各藥店に有り 健通丸は腹を痛めず。心地よく通じくせにならぬ最良下劑なり 本舖 大阪北濱 參天堂藥房

明君道中記

第百九十四席　田邊南龍口演

松平長七郎は三宅宅兵衞より伊勢音頭の話しを聞き早速それを見たいと仰せられましたから、藤堂新七より藤波石見に其の事を申し聞け藤波の手代が古市の山屋喜平次方へ參りまして此の事を申し入れた〇『今晩其方宅へ參る客といふのは尊き御方樣家來三名を伴れてお出になるから粗末なき樣いたします樣』喜『畏りました』とお受けをしたが、尊き御方であるから不躾の無い樣家內一統の者へ申し附せ他の客は一切斷つて其の內より支度をいたして待受けて居ります、處へ長七郎宇平次宅兵衞三次を伴れ藤堂新七が先に立つて其他廿四五人御供にて山屋喜平次方へお出になる、喜平次は羽織袴でお出迎ひいたし直ぐ座敷へ御案內申し上げると、其處へ酒肴が出ます、長七郎新七を相手に御酒を召上つて居る內に支度も出來たか正面を見ると舞臺が出來て幕が引いてございます、幕を開くと舞臺に現はれたのが三四十人の女、何れも揃の振袖で紅粉を裝ひ赤の紋りの手拭を吹流しに冠り殘らず手足を揃へて踊る、三味線太鼓大鼓小鼓笛等を鳴す

鶴の林の元は凡夫の淺間しや。

と唄につれて三四十人の女が踊るのでございますから實に美事でありまする、長七郎は恁ういふことは始めて見る事で暫く見惚れて居らせられる處へ山屋喜平次其處へ參り　喜『此の內にてお相手をいたす者を御見立下さる樣』長『彼の中央に居る赤紋りの手拭を冠り居る者予が相手を申し付ける』喜『彼は當家のお職にて藤山太夫と申し當年十九歲のものでございます』長『左樣か、其藤山と申す者が予の相方であるぞ、其方共も見立る樣』宅『拙者は右から三人目の女が宜しい』各々思ひ〳〵に見立てまする　其內に踊も終つて相方の女共は側へ參つてお相手をいたす新七はお暇を給はつて退る、長七郎主從は其の夜はお泊りになり、翌日は一旦藤波方へ歸りそれより城下の常陸屋十兵衞方へお引取りになりました、處が藤堂家にては多分の散財でございますが、それは宜いとした處で萬一粗忽でもあつてはならんから當所をお立せ申さうと思つて其夜密に新七が常陸屋方へ參り三宅宅兵衞へお立退を願ふ、と宅兵衞宇平次も素より承知をして居る處で、長七郎へ出立のことをお勸めました故長七郎も最もと思ひ新七始め係りの者一同へ禮を述べ伊勢の津を出立することになりました、新七は領分堺まで御見送り申して別れを告げて立歸る、此方は長七郎主從伊勢路を後にして再び東海道筋へ出ましたが、

山驛の手前峠へさしかゝつて參つたのが最早七ツ下りでございます、此の峠を越ゆれば水口宿であるから此處を越して水口へ參らんと峠へさしかゝつて參る、山路といふものは手間取るものと見えて峠の中央にかゝつた頃日はトツプリと暮れてしまつた、然し武家伴れのことであるから少しも恐れる處にございません　今峠の中央へ來て向ふを見ると、チラ〳〵燈火が見ゆる、何であるかと近寄つて見ると往來中央で焚火をして其の周圍を取卷て居る七八人の大男、熊の皮の胴服なぞを著けて居る人體の惡い奴ばかり、長七郎之を見て　長『コレ宇平次宅兵衞、彼處に居るのは何者であらう』宅『左樣でございます、何れも人體の惡い者共殊によつたら山賊ではございますまいか』長『ハア山賊か、宜しく〳〵予に任して置け賊を一つ驚かしてくれるから』と長七郎は先に立つて其處へお出なさる

入院隨意　京城南大門通二丁目七番地（西湖銀工銀行前）　胃腸病院　電話一六五九番　院主　佐々木杏造

暦

七月四日　水　舊五月十六日丁未　不命二黑坤除友引

▲二黑● 本職附合の事有る日新事見合可方は吉 暗劒坤▲三碧● 水かけ論の事有る日新事手控新事は吉借爭を謹まるべし▲四緑● 苦々敷事有る日新事手控新事は吉一寸のせわ事を慎す▲五黄● よしなき疑を受けんさす新事手控新事は吉 妨なし▲六白● 幸福の日轉居旅行入學名弘求職採鐵金作婚姻船舶築藥賣吉▲七赤● 發展の日轉居開業物苗吉女子の學徒により立身を爲す大いに振ふべきの日也▲八白● せわ事にて思慮を謄かんとす新事手控新事掛を愼ゐるは吉▲九紫● 福運の日轉居旅行入學名弘求職金件婚姻證山業等萬吉▲一白● 謹の日新事手控新事は吉小兒養生水難注意

流經新藥レスノリン
月經閉止四五ヶ月以內に於ける本品の流經作用は確實にして容易く應用の目的を遂し其効果他藥に優越す藥價一瓶壹圓送料內地十二錢海外州錢切手一割增說明書三錢切手添申越進呈　振替大阪二六七〇番　大阪北區曾根崎上一丁目三六地　發行所　常盤藥院

わきが
にて今迄彼是と他の薬を用ひ効なき方は特効藥アァーザーを用ひあれ價六十錢一個　京城黃金町三丁目　電話二九四九　日文殊堂

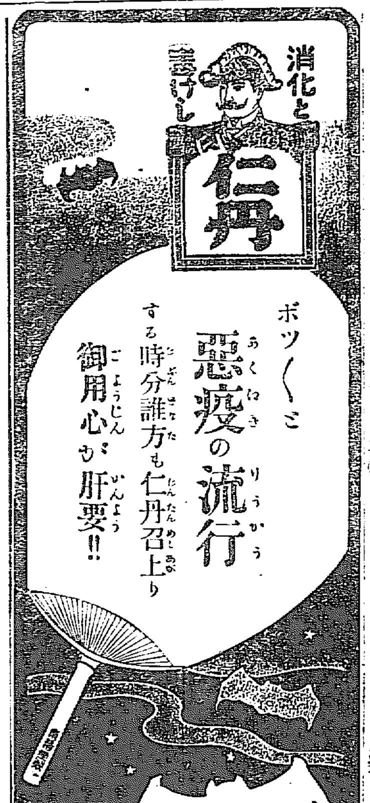
りん病　ばい毒
本藥は殺菌力強大にして些の副作用なく急性慢性淋病及び各種梅毒性諸疾患に服用し最も安全迅速に治癒の目的を達す
一周分　梅毒　普通金壹圓二十錢　特製金貳圓
淋病　普通金壹圓　特製金貳圓五拾錢
京城永樂町二丁目六番北　東京ドラッグ商會　滿鮮本部

下總國野田町
茂木七郎右衞門釀造
特約店
明治町一丁目
牧野商店
電話二五三番

最上　醬油
キハク印
醬油の撰擇を誤るは年中の損
試み給へ關東唯一の絕品キハク醬油
釀造高全國に冠たり年額六萬二千石
最大の釀造高は最大の購買力に基けり
最大の購買力は品質優越の證

ホンノリ色白くなる
レートフード
日焼をせず美人となる
▲不思議に強い精分のあるレートフード
◇こういふ作用で
◇日焼けをさせぬ
レートフードには新發見の美容原料が配合されてありますから、有觸の濃厚化粧液と違つて、附けた當座はヌルつく心地が致しますが之れが精分の強い證據で暫時摩擦して居られると直ぐ、お顏が滑かになり、皮膚の根本から調和て行き日焦をさせる太陽の紫外線を完全に防ぎますから日焦を致しません。そして尚ホンノリ色を白くする不思議な作用を持つて居ります。
◇態とらしくない
◇美人にせしめる
レートフードをお附けになると、毛穴の垢を取つて皮膚をフックラ致させますから自然の美くしさが發揮上に、ホンノリ色を白くする事、決して態とらしくなく、至極爽床しう御座いますから、眞の隱化粧として恐らく天下これ以上の自然化粧料は御座いますまい。まして汗の出る此頃には、附けて氣持よく美くしくなりますから一度使へば一日も離す事は出來ません。
◇家庭化粧料には
◇お徳用で低廉い
レートフードが隱化粧料として、儀容を整へる事男女共にこれ程重寶なものはない丈け、家庭化粧料として日常お使いになる上に、非常にお徳用に使へるやう價格は出來る丈けお安くして御座います。特に大瓶は一層お徳用で毎日お使ひになつても一ヶ月は充分御座います。そして一ヶ月もお使ひになれば見違る程お美くしくなる事は愛用者位の驚嘆れて居る處で厶います。
レート化粧料本舗　東京　平尾贊平

目錄送呈
◎完全無比の實用經濟の　覇王グラス萬年筆
米國パアレット會社製　眞正十四金ペン先付　最新インキ止式
●諸官衙銀行會社其他團體にて多數御購買の向へは特に割引仕候
●朝鮮總代理店　京城本町二丁目（電話四四五番）振替京城二五六番
釘本藤次郎本店



消化と毒けし　仁丹
ボツ〳〵惡疫の流行する時分誰方も仁丹召上り御用心が肝要!!
金言　人を感せしむるは功名家の常に企る所　クロンメン

鎭痛藥
ホシコロダイン
定價 10. 20.
▲胃痛▲腹痛▲中暑▲眩暈▲食傷▲吐瀉
東京市傳馬町三　星製藥株式會社
各地特約店及藥店にあり
特約店　京城本町二丁目　キムラ藥房

入院隨意
京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）
電話二六〇番　一八〇番
酒井婦人病院
院長　酒井一郎

大日本優等清酒
ハクツル
品質純良　衛生無害
白鶴
醸造元　攝津灘御影町　嘉納合名會社
發賣元　京城本町二丁目廿番地　前田酒店
電話一三七番　振替口座四二五番

貯蓄預金
元金百圓ニ付日步壹錢三厘金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店
京城黃金町電話四二〇番五八〇番　振替貯金口座京城八一四番
同　龍山出張所
龍山元町二丁目　電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

京城日報
第三版
七月三日（夕刊と合せて八頁）
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 小泉三之介
印刷人 (以下不明)

朝鮮の教科書（十三）

編輯課長 小田省吾

二 高等普通學校及同程度教科用圖書（其三）

四、**高等朝鮮語及漢文讀本** 本書も國民性涵養の資料たるべきものを選擇したるは言を要せず、殊に朝鮮語教材には農業其の他總督府の奬勵事項に關係あるものを多く取り、漢文教材は經典諸子其の他內外の諸文集等より、教訓たるべきもの模範文たるべきもの等を採擇したるも、就中力を致したるは從來朝鮮人の親昵せる漢籍中より實利實功を說き、若くは産業奬勵に補益ある材料を選擇し、以て古聖賢の說く所亦決して空理空論にあらざるを具體的に示したるにあり。之れ內地中等程度漢文教科書の多く美文を主とせると稍趣を異にせる所なり。

五、**高等普通學校習字帖** 本書は普通學校習字帖と異なりて、高等國語讀本と內容上の聯絡に重きを置かず、結構類似の文字より始めて日常必須の字句を選び、適當に細字を加へ卷一は楷書及び行書とし片假名平假名を授け、卷二は行書及び草書として平假名を授くるものとす。是れ高等程度諸學校に入るもの必しも普通學校卒業者にあらざるを以てなり。又附錄として普通の書翰文、諸願屆をも加へたり。

六、**外國歷史教科書** 本書は未だ內地中等程度教科書に於て多く試みられざる所を實行したるものにして、高等普通學校規則に準據して其內容は東洋史と西洋史とを合せ敍したるものなり。本書は世界最古文明の地方より說き起して一般文明の進步せる有樣を敍し、殊に近時動もすれば徒に自卑して外國の事物に心醉するの弊あるを以て本書に於ては又東洋文明の決して輕んずべきにあらざるを說示せるのみならず、最後に我國文明の現時世界に對する地位を明にせり。

七、**日本地理教科書** 本書も亦一般本邦地理の教科書と稍々其の選を異にせるものゝ一たり。即ち其の特異の點は（一）朝鮮を全く本邦領土の一部として他地方と同列に於て之を敍す。（二）朝鮮人生徒は朝鮮地方の自然地誌人文地誌に關し（勿論現代のみ）相當の知識を有するを要するとも內地其の他臺灣樺太等に關しては詳細に渉らず寧ろ其概要を確知するを以て肝要とす。由て本書の三分の一を以て內地、臺灣樺太等を敍し、約三分の二を以て朝鮮地方に宛て、其記事は何も産業に重きを置けり。故に本書は又朝鮮地理の大體を知らむとする者に取り、至便の書なりと謂ふを得べし。（三）以上の如くなれども、本邦領土、人口、行政、軍備、産業、外交等大體の知識を逸せざらむことに力むると同時に我が國の實力を明かならしむるに力めたり。

八、**地文學教科書** 本書は其の組織として大なる特色なきも、由來地文學なるものは、地上並に空氣中の諸現象を具體的事實に依りて敍する學科なれば、朝鮮に在りては地質、雨量、氣溫等總て之を朝鮮の實例に取りて敎ふること最も緊切なり。本書は即ち此の目的に適應せむが爲に編纂せるものにして特に力を注ぎたるは此等實例の蒐集にありとす。

九、**教育學教科書** 本書は一般教育學の理論を敎ふるを主とせるものにあらず。一に朝鮮教育令並に普通學校規則教員心得等に據り、一通り教授、訓練、管理の方法を敎ふると同時に、本府教育の本旨を徹底せしめむことを期したるものなり。

以上の外修身教科書、本邦歷史、教科書等國民性養成上忽にすべからざるものあるを以て、目下之が編纂を急ぎつゝあり。本年度より順次其の出版を見る豫定なり。又既刊の高等普通學校教科書は一時教科書の缺乏を補はむが爲『稿本』として數種の學校に兼用せしめつゝあるもの多きを以て、漸次他教科書の完成を待ちて整備の要あるものなり。

隣邦を奈何……對支國策を確立せよ

英人の觀念（十六）

中島生

支那に於ける日本人の經濟的勢力は、敢て言はずもがな。近年著しく增加した。滿洲の事は、長江沿岸に於ける日本人の發展に對しては、在支英人は白眼を以て之を見、日本人といふ奴は面憎いといふ感じを懷いて居るやうである。最近に出版された『支那に於ける英人對獨人』といふ書の著者デニス、ケー、モスと云ふ英人が、其書中に斯う云つて居る。『吾人は支那に於て獨逸人よりも遙かに容易ならざる兩個の競爭者を有す。第一は日本人である。第二は支那人である。日本が其の低廉なる勢力と、地理的近接の關係とを以て、吾人英人のあらゆる商業範圍に侵入し橫行濶步するに於ては、吾人が之を喜ぶと喜ばざるとに論なく、日本は吾人に追ひ付かずんば已まぬであらう。歐洲戰爭は日本に對して、日本と支那との間の貿易及び其他世界各方面に對する貿易を擴張せんが爲めに、驚ろくべき機會を與へた』と。然り、日本人は英人が――啻に英人のみと云はず、米人も其他の國民も――之を喜ぶと否とに拘らず、支那に於ける經濟的勢力を增加しつゝあるのである。英人をして、其商業上の恐るべき競爭者は日本人であると叫ばしめるのは當り前の事である。事實日本の經濟上の勢力は、歐洲戰爭以來、中部支那に於ても著しく膨脹を告げて居る。故に英人としては、日本人の發展は癪に障るかも知れぬが、日本人としては、支那に於ては、何れの國よりも總ての方面に於て、優位に在ると云ふ事が、國家的必要に基づく限り成るべく經濟力の對支發展を策せざるを得ないのである。日本は素より英米其他の國を絕對に支那に於て排斥せんとする者ではない。商業上機會均等主義は、何處までも尊重するのである。さり乍ら、日本は他の列國よりも支那に於て一段の發展を期し能はぬといふ理由はないのである。他の列强國が、世界に廣大なる植民地、勢力範圍乃至は市場を占有せるに拘らず、日本が支那を以て自國の最も重要なる市場たらしめんと希望する事に對して之を阻止する資格はない筈である。日本が支那に於て最も優越の地位を占める事の當然なるは、英國人中の識者も之を認めて居る。ウヰザアム、ブレインと云ふ人が、倫敦に於て『ナインチン、センチユリー』誌上に支那に於ける日本人と題して論じた中に、次の如き事を言つて居る『日本が支那に於て自國の勢力保持の爲めに、過去に於て幾多の國帑と尊き人命の犧牲とを拂ひし事は、實に少からざるものである。故に何人にても、日本が目下支那より無償を以て、利權を獲得せんとしつゝありと、思惟する者は、即ち日本の正義の主張を侮辱する者である。若し日本にして、千九百二十三年に至り、遼東半島より撤退する事ありとせんか。其結果の支那及び世界に及ぼす影響は、海に容易ならぬものがあるであらう。故に眞に支那の將來を憂ふる識者は、日本が滿洲より撤退せんとする事あらば、之に對して躊躇すると同時に、必ず日本の底を求めざるを得ないであらう。日本が青島を占領して、山東省より獨逸人を驅逐するや、極東の局面に一大變化を來した。日本は日露戰役の結果、南滿の地より露人を逐ひ、露人の遺業は悉く日本人の手中に歸し、支那政府も亦其獲得を承認した。膠州灣の運命も亦斯くの如くなるべし。日本が獨逸に與へし最後通牒を見て、日本が獨逸より承けたる膠州を、直ちに支那に還附する意思なりと解する者は、極東の情勢に通ぜざる者である。此等の政治、經濟、軍事の各方面に於ける充分の研究を爲すを要す。即ち今にして支那政府が、日本より直ちに膠州灣租借地の還附を受けんには支那も恐らく爲す所を知らないであらう』と。此の言以て日本人の念ふ所を代つて居るの感がある。恐らくは、日本の優越權を認めざらんとして認め得ず、已むを得ず之を認めしにすして、進んで之を認めたる結果、此の言あるものにて、是て支へたからうと思ふ。

夏の金剛山

丸山晩霞

（二）神溪寺と彩霞峯 元山を出航した汽船は翌日午前十時頃長箭に着いた。……に這入るとき、左に聳立する奇しき岩峯は雲に包まれて、……山のスカイラインを望んだとき、瑞西のアルプスを偲ばずにはゐられなかつた。嬉しき山居!!と讚嘆した……のである。温井里に着いてこの山を調べて見ると、彩霞峯といふのであつた。彩霞。彩霞。この山に附すべきゆかしく又めでたき名である。翌日温井里を發して神溪寺からこの山を仰いだ予は金剛山中絶端的美として、この山を第一位とする。されど世人が金剛遊覽中、この山の觀過されたることを遺憾に思ふ。但むらくは前景としてこの山に好適のものが無い。

『誰』を譯載するに就て

布施生

フランスの作家エミール、ガボリオーの傑作 Le Dossier No. 113（英譯では File No. 113 となつて居る、意味はどちらも綴込書類第百十三號といふ事で其譯は本文を讀んでゆくと分る）を明日から連載するに就て、一つ二つ申述べたい事がある。

『誰』は探偵小說である。探偵小說の名家と言へば、今は誰でも眞先に英國のコナンドイルに指を折る。而も其の秘密を解いてゆく探偵手段の成程話の筋の變幻錯綜を極めて、合理的な點ではドイルに勝るものは無い。其の名の持囃されるのも尤である。然しかういふ探偵小說が全然ドイルの獨創だと思ふと少し違ふ。ドイルには影響の有無は兎に角少くとも二人先輩があつた。一人は米國のエドガー、ポオで一人は今言ふガボリオーである。ポオは百年餘り前の人だが、ガボリオーも同樣餘り新しい人ではない。彼は千八百三十五年即ち天保六年に生れて千八百七十三年即ち明治六年に亡つた。そして『誰』の出たのは千八百六十七年即ち慶應三年の事である、考へて見れば隨分古い、所が其の古い小說が今でも人氣を落さないで、恰度ポオの作が今でも年々新しく改版されて年々盛んに賣れて行くと等しく、この書も廣く各國語に飜譯されて、原書も矢張り年々相當に賣盛つてゆく。ポオとドイルとの作には短篇が多いが、ガボリオーのは大方長篇で大抵は一つで一冊の單行本になつて居る、長い丈に時々冗過ぎると思はれる所がある、それでさう云ふ點はこの譯には一切省いた。

ガボリオーが一派の探偵小說を書き出したのは千八百六十六年彼が卅三歲の頃で、其の前には色々の物語に筆を執つて居た、それから千八百七十三年九月二十八日三十八歲と云ふ若い齡で巴里で頓死するまでに、恰度十一種ばかり面白い探偵小說を書き遺した、中でも代表作と謂はれるのはこの『誰』と『大探偵ルコク』との二篇である。

譯者の文章は、譯とは斷つてあれど、嚴密な意味で言ふ譯では無い、つまり譯の梗概を傳へる丈である。所は隨分省いたり改めたりして細かい文字に至つては迚も譯とは謂へない程我儘勝手を極めて居る、此點は豫じめ白狀して讀者の御宥免を願つておく。

探偵ものとは言ひ乍ら筋に慘酷な所が無く、却て美しい人情が絡んで居る、讀んで不快なもので無い丈は譯者が安心して皆樣に御薦めする所以である。

烈日の如き燦々たる七月號の壯觀

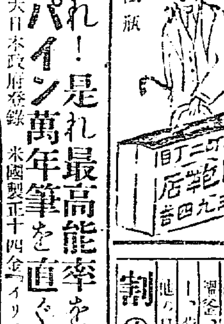
朝鮮公論

■世界の謎……（豫言）
■水泳に危險な體質……瀨戶醫學士
■最近驚くべき物價騰貴の研究
▲其原因と其趨勢……同部銀
▲魚價の調節策……生田總督府
▲米價の騰貴と今後……川上拓
▲當世秘書役評判記……李助
■人物月旦 鈴木穆論……有時易水
▲全鮮學校組合會議員當選者
■一望樓（當年の貧弱兒今は國家の一選良）……三亂公
▲財界時言 ▲一人一話 ▲涼風一過 ▲三十番の男 ▲運動家一百人 ▲記者の聲
■政界の現下三角同盟……大石正己
■戰後の世界大勢論……ドクトル長瀨鳳輔
■國家に對する吾人の犧牲……犬養毅
■總は政權爭奪を難ず……澤柳博士
■李王殿下の東遊と新附同胞……社說
■新長官の抱負如何……高島平三郎
■母の新修養……胡蝶生補記 春江
■清華亭情話……主人
■政戰の跡を顧みて ▲雨の平戶島…時岡欣堂 ▲下五島まで…阪西春秋
▼三大航路問題……持地六三郎
▼今後の財政計畫……鈴木穆
■鮮滿兩鐵道の統一と經濟的影響如何……高野省三
▼大阪發展の新機運 ▼今後の着眼點……秀次郎
■最近鑛業界一覽
購讀申込所 京城太平通 朝鮮公論社 電話長二四〇〇番 振替京城一五七七番
▲一冊廿五錢郵稅一錢五厘■六冊前金一圓四十五錢■十二冊前金二圓八十錢■內地臺灣支那朝鮮各地書店に在り

通學の便なき人をして本校に學ぶと同等の學力を授くる天下唯一の英語講義錄
監修 齋藤校主
正則英語學校講義錄
齋藤先生が嚴密なる監修の下に多年教授の經驗を有する正則英語學校講師一同各自得意の部門を分擔執筆せるもの其說明の明快懇切なる……
第八回新學期開講會員大募集
講義錄見本つき會則進呈 電話又端書にて即刻申込まれよ
會費 一ヶ月二十五錢 一學級一圓卅錢 二學級二圓半 全五學級六圓 ●各級僅々●六ヶ月卒業
東京市神田區三崎町一ノ九 正則英語學校 講義錄發行所 電本二二五二 振東二六八二八

"PIN,, E"
是れ！是れ最高能率を有し眞に理想的なパイン萬年筆を直ぐ御買ひなさい!!
◎大日本政府登錄 米國製正十四金「イリジーユム」付ペン（責任保險付）
◎附言パイン萬年ペンは自然の破損又不具合の節は滿一ヶ年間交換又無料修繕
完全なる設備と老練なる技術者に依る各種萬年筆即時修繕
堅牢無比
東京パイン萬年筆出張所 京城旭町二の六
發賣元 京城太平通一丁目 京城日報代理部 振替京城三二〇〇番
陳列所 京城本町二丁目 ウツボヤ書店

旅行用具 東京製袋物 壓法販
岩田鞄店 本町二丁目 電話五九四番



製造元とのやくそくで 割の安い品そろいの
醬油、酒、味噌、醬油、鑵詰、ビール、サイダ、石油、洋酒、足袋、其他日用品
大おろし店 仁川本町 河野本店 電話二八二番

▲依然強硬 ▲梅雨に過ぎず 天氣豫報

第卅九回特別帝國議會

貴族院（二日）

貴族院本會議は二日午前十時五分開會、德川議長は諸般の報告を省略の旨を告げ次で德川第二部委員長の辭任申出あり許可に決し同部に於ける補缺選擧を希望したる後議事に入る直に

阿片法中改正法律案

第二讀會に入り松平直之伯委員長として報告する所あり委員會の決定通り原案可決確定次いで

日本勸業銀行法中改正法律案
農工銀行法中改正法律案
北海道拓殖銀行法中改正法律案

の以上三案第二讀會に入り三案を一括して委員長川村鐵太郎伯より委員會の經過報告あり原案通り可決確定

産業組合法中改正法律案は委員長奧平昌恭伯委員會に於て種々の議論あり又斯くの如き議案を短期の臨時議會に提出するは遺憾なりとの議論あるも大藏、農商務、内務三大臣より監督を十分にし遺漏なき事を期すとの言明ありたれば修正説ありたるも兎も角原案の儘可決せりと述ぶ

此の時德川議長席を黑田副議長に讓りて退席す木村誓太郎氏は仲小路農相に質問ありとて自席より其の要旨を述べ且動議として採決延期を希望す仲小路農相之に答へ更に平田東助子より奧平委員長及び木村氏に質問する所あり兩氏交々之に答へ吉井伯より二讀會の動議成立し二讀會に移り阪本釤之助氏より「本案は重大案なれば實施後に於ける當局の周到なる注意を希望し就中實施に伴ふ弊害多かるべきを以て監督遺漏なきを望む」仲小路農相は『御注意に副ふべく最善の考慮と努力を拂ふべし』と答へ更に木村誓太郎氏と仲小路農相の間に二、三の問答あり木村氏より延會動議の提出ありたるも否決となり第二讀會を終り吉井伯の進行にて第三讀會に入り原案通り可決確定黑田副議長は次會の日程は追て報告すべき旨を述べ十一時三十分散會せり（東京特電）

衆議院（二日）

豫算分科會

▼第一分科會　は二日午前九時五分開會松室法相より司法省所管豫算の説明あり

▽樋口秀雄氏（憲政）は不敬罪又は危險思想に關する司法省大臣の方針如何を問ひ

▽松室法相　は『唯法律の條文に觸るゝ者を檢擧するのみ』と答へ次で文部省所管事項に移り岡田文相豫算の説明を爲し松田源治氏（政友）の質問に對し岡田文相より『新設の臨時教育會議は廣く有識の士を網羅して委員四十名の豫定にて猶臨時會員を置く事あるべし』と説明し後二、三の問答あり零時四十分散會せり

▼第二分科會　は二日午前十時開會後藤内相所管の豫算を説明するや

▽黑須龍太郎氏（憲政）は選擧違反及び慶應義塾醫科大學敷地拂下げ問題に關して質問し

▽水野次官　は之に對し『選擧違反に就ては統計に就て了知せられ度く土地拂下げに關しては未だ東京府知事より報告なし』と答へ次に武市彰一氏（憲政）より警察及び殖民地警察に就き質問し小山東助氏（憲政）より言論取締に關する質問あり水野次官之に答へて正午散會せり

▼第三分科會　は二日午前九時開會、高木正年氏（憲政）よりの質問に對し

▽勝田藏相　より『公債政策は決して矛盾せず政府は正貨處分の一策として外國の公債に應じつゝあり右は一時的現象にして臨時軍事費は借入金に依る考へ也』と答へ井上角五郎氏（政友）の戰時財政策確立の質問に對し勝田藏相『政府は戰時收入を積立法案に就きて調査計畫せしが今期議會に提出の運に到らざりし』と答辯し正午散會せり

▼第四分科會　は二日午前十時開會望月小太郎氏（憲政）の質問に對し

▽加藤海相　『本大臣は將來必要とあらば我が艦隊を大西洋に派遣するも差支なしと思惟す』と答辯し次に

▽高木正年氏（憲政）は『朝鮮に既に二個師團常設せられたる以上一個旅團の兵員に該當する朝鮮派遣の憲兵は廢止する意なきか』と問ひ

▽大島陸相　は『朝鮮駐劄憲兵は朝鮮の治亂に關係あれば此の件に就き陸軍大臣單獨にて答辯する能はず』と答へ猶最近武器の進歩に就ての質問應答ありたり（東京特電）

▲國民代議士會　國民黨にては二日午後一時院内控室に代議士會を開き豫算に就きては審査未了の爲め態度未定とし軍人恩給法中改正案、電話事業案は政府案を賛成し北海道拓殖鐵道利子補給案は反對する事に決せり（東京特電）

◎間島と我司法權

岡本檢事正談

[illegible]して殊に間島方面は居住者の大部分が朝鮮人たるの關係上一層[illegible]を極むる[illegible]は之が治外なりと主張し間島在住の日本人鮮人は依然間島協約に服從すべきものなりとの偏見を持し居る

▲間島に逃竄　擧げ近來鮮地に於て犯罪を爲し間島に逃竄せるもの[illegible]々檢擧され鮮地に逆致され[illegible]當局者に於ても我權利を充分に伸張すべく努力しつゝあるを以て遠からず實行力の伴ふと共に我法權の普及[illegible]租借に就ては間島協約に依り商埠地外の土地は鮮人に限り之を許可し其他の日本人朝鮮人には許可[illegible]

▲容易に解決　將來我滿蒙協約實行力に伴ふと共にすべき問題なとするもの[illegible]居住するを得[illegible]

◎復辟斷行と歡迎

賀表捧呈＝黃龍旗を揭げて萬歲を唱ふ

宣統帝復辟斷行に對し奉天督軍張作霖氏は二日賀表を奉呈せるが滿洲は勿論一般の支那人も亦是を歡迎し個人又は團體の名を以て賀表を奉天省廳經由にて捧呈する者續々あり氣早の者は古びたる黃龍旗を揭げて淸朝復辟萬歲を唱へつゝあり旅順の肅親王邸にも祝電頻々として到るが如し（奉天特電）

◎獨帝講和を希望す

獨逸皇帝は各政黨代表者に對し朕は速かに講和成立し平和の克復せらるゝ事を希望すと述べたり（倫敦電報）

◎東拓の滿蒙移民計畫

南洋南米に對する拓殖方針

東洋拓殖會社改正法案通過實施後同社に於て滿蒙に對する移民の募集及び分配並に南洋南米の移民及び拓殖に關與を持つに至る事は明らかなるが右に付き同社某當局は曰く

▲滿蒙移民の困難　滿蒙の事業に移民と云ふ事は兎に角頗る困難の事には相違ない、然しヤリ方によつては決して不可能ではあるまいと信じてゐる、素より滿蒙の實情は朝鮮と全く異なり第一日本人には土地所有權がない第二に土地の勞働者が非常に勤勉である第三に交通は不便自然が寒暑共に之れを朝鮮に比し嚴酷である、其他各種の關係上、移民も餘程朝鮮とは異なつた形式で募集及び分配をせねばならぬ、乃ち（一）土地の所有權がないから一昨年の日支新條約により滿洲に於て日本が獲得してゐる商租權（永代借地權に近きもの）によつて土地を商租し、其の商租地を移民に分配する事に致す外はない、而して蒙古に於ては商租權も全く認められてゐないから日支合辦と云ふ形式に於て日本移民の招致を計企する事になつてゐる、然し土地商租と云ひ日支合辦と云ふも兎に角其の權利を得又其の實行をなすには色々の困難がある、土地の商租と云ふ事は今日の滿洲では支那官憲の態度が妨であつたり、權利を得やうとする日本人の出方が餘りに我利々々に偏する等の爲め仲々の面倒を惹起してゐるのもあるやうだ、但し會社は此點に於て支那官憲とも相當の方法を以て意志の疏通を圖り、權利獲得の目的も趣旨もよく了解させ、又地主の支那人にも酷薄な事をせず圓滿に氣持よく事を運ばせて行きたい

▲其の實行期　滿蒙に於ける土地の勞働者は非常に勤勉である、又交通は不便自然は寒暑共に嚴酷である、そこで朝鮮の如き自作移民乃ち移民拓殖の移民を送つても到底成功の見込みはあるまい、怎うしても滿蒙に於ける日本移民は地主移民乃ち資本拓殖の移民でなければならぬ、而して會社も亦事情の許す限り保護を篤くせねばならないと思はるゝ、序で滿蒙移民の募集及び分配を東拓法が認め、之れを行なひ得る事となつても、直ちに今明年より其の實行をやると云ふ事は出來まい、物に順序あり、先づ會社は調査それから準備、土地の商租等に力を注がねばならぬから滿蒙移民の公募と云ふ事は三四年先きの事である、尚ほ滿蒙に於て會社は土地の商租を得れば之を移民に分配する一方會社は大農式の營農も試みる方針である、南洋及び南米の移民取扱ひと云ふ事は何しろ遠隔の土地だし色々の困難が伴ふから、遠き將來は姑らく措き差し向き會社で其の實行はやらないであらう、移民の直接取扱ひは致さぬが、移民會社の發行する社債を東拓で引受け又移民に對する資金の貸出しは之れを實行する、乃ち移民會社を通じて南洋南米の移民に關する間接の關係を持つ譯だ、又南洋や南米には個人で例へばゴム園を經營するとか農業をやるとかして、隨分資本金の不足を感じてゐる人もある、之等の確實な向きに對し、相當の條件で金融の途をつけてやる事は、大和民族の堅實な海外發展を圖る上に於て決して等閑視すべき問題でない、そこに會社は適當の方法を講ずる考へである云々

◎京畿農作近況

京畿道管内に於ける稻作は先般來の旱天に由り農民の悲觀其の極に達せし有樣なりしが去る二十四日及び二十六日に於ける降雨量約五十耗あり爲めに一般農作物に幾分好影響を來し道管内北部地方は已に六割南部地方は約二割管内平均三四割は既に無事植付を了する事を得しが尙樂觀の域には達せず近日中尙五十耗の降雨量を見るに到らざれば全部の植付は到底困難ならむと觀察されつゝあり幸ひ相當の雨量を得ば本月十日中には管内全部の植付を爲す事を得べき豫想なり元來畓の旱魃に由る植付困難の場合少量にても水を得ば直ちに假移植を爲し株間普通八寸位のものなれば一應之を二三寸に密植し置き適當の降雨を待つを最適の方法とするものなりと云ふ又麥作は既に收穫時期に際し去月一日頃には約二割八步位の減收にて事濟むべきを豫想されつゝありしが其後依然として雨量なく爲めに稔らずして穗枯れせるもの等渉からず漸次惡果に傾き而かも昨今收穫時期の降雨は麥の成育上殆んど其等の良果を齎らす能はず四割乃至五割の減收は到底免れざる所となれり其他陸地棉、綠肥、大豆、馬鈴薯等一般の降雨に由り幾分良果を收めたるもの、如く概して一般畑作物は枯死に瀕せる折柄の降雨なりし爲め何れも蘇生の感あり比較的好影響を齎せしが其他の作物及び蔬菜等には差したる良果を來たすに到らず尙雨量僅少を訴へ居れる有樣にて一般作物は少くとも近日中尙五十耗以上の降雨量を必要とすべしと。

◎銀行前半成績

朝鮮内各銀行は六月三十日を以て本年上半期の決算を締切り何れも目下損益計算中なるため詳細は未だ知り難きも大體に於ける成績を聞くに朝鮮生産品の價格騰貴並に輸移入品の騰貴ありしに拘はらず輸移出入共盛況を呈したるため從つて銀行の貸出は增大し在外資金の消化は良好なりしもの如く何れも前期以上の成績を擧げたるに似たり尙ほ五月より朝鮮銀行が貸出金利の引下を斷行せし結果之れに倣ひし銀行もあれど然も其の實行は期末に際せしため多くの影響を上半期の決算に與へ居らずとの事なり

◎全南棉作見直す

全南に於ける棉花は旱天の爲め發育遲れたるも近來に到り稍恢復し[illegible]

◎根津氏干潟地[illegible]

[illegible]

◎司法事務打合會

朝鮮最初の[illegible]六月十八日から二週間[illegible]

▲道視候補者　[illegible]

▲日日の下で　[illegible]

▲毎日八時間　[illegible]

◎立花中將動靜

第十九師團長立花中將は西鮮地方各部隊檢閲の途二日午前十時十八分來着したるが三日義州守備隊を檢閲して引返し四日新義州に向ふ筈なり（新義州特電）

人事消息

[illegible]

支那語指話

[illegible]

婦人之友　七月號　女中問題號

下女問題　（下女問題に對する種々の意見）　三宅博士
▣女中の拂底とその調節法……生江孝之
▣子供にやさしい印度人の子守……平石子
▣女中の爲の懇話會と家則……中村八子
▣斯して女中を居つかせます……

良女中惡女中　（實例二十七篇　四十頁の大讀物）

姑小姑に就ての私の經驗　（總て十七編悲劇あり人情の委曲を盡す）

家庭小説　若草……紅綠　佐藤
小歷史小説　淀君……中里介山

◎時世裝スケッチ……◎季節の盛花と挿入……◎懸賞家計問題發表……◎客間と門の格好……◎旅先で便利な小袋……

家庭實用　洗濯法　（先ず白い物の洗濯より始め連載す）　山下榮

定價一册金十錢　半年稅共金壹圓　東京雜司ヶ谷　婦人之友社　（振替東京一一六〇〇）

書畫用品　繪絹、紙類各種　萬年筆販賣及修繕　京城永樂町二丁目　電話七〇番　堀崎商店

好期を逸し悔を千歲に殘す勿れ

今や已に綿糸は三百圓台を突破し空前のレコードを造れり綿糸界未曾有の好況の爲め莫大小製品例年の三分の一にも達せず爲めに一般需要期ともならば意想外の暴騰を來さん兆あり此の際に當り弊店は多年の愛顧に酬ひん爲め他店に先んじて諸般の準備を整へ此の暴騰期に際し格安最好適品を最も薄利にて提供せんとす幸に弊店の微意を察し倍舊の御注文あらんことを乞ふ

ボール印製造元
メリヤス
大阪市東區南本町渡邊筋
島村英三商店

生活　七月號＝全誌大改善の活躍を見よ

特別記事
林田代議士の雲梯盃戰記……林田龜太郎
海水浴の利く病氣……高木醫學博士
大猶太の埋葬院と檀家……中村主任
遺傳の速力と分量……山内理學博士
顕微鏡下の女優の癖とかくし藝（寫眞入）……X醫學博士
熱湯神秘療法の實効（寫眞入）……田中公壽

△各種電球の壽命と光色
△藥籠と擦傷の家傳
△名古屋の艶物と狂言
△新法學士の縁談
△不良少年の浮浪
△十週間にテキ屋の商品
△評議士會
△飯で評判をとった人

東京本町　博文館　振替二四〇

る咸興地方法院咸興檢事正は語る咸與法院檢事局管内は支那と接衝する所多き關係上司法事務も亦複雜に…支那側に締結されて

▲滿蒙協約に 對しては間島…支間のなる事は最早議論に及ばざる所だるを以て我は其獲得せる利權の行使に向つて進みつゝあるが著々成績を…察權の領事館同分館所在地等一局部に集合し居るを以て青く偏僻地にまで我法權の及ばざる恨みあるも

▲土地商租權 に就ては支那…於て農業を經營し或は工業を企劃せんとする場合其…協約に以て隨意に商埠地外に於て土地を租借し事業を經營するを得べく之れ…ば我は商租權を有するを…問題が解決して如何なる僻地にても我司法權の普及するに至らば現在の在任者は勿論新に間島に移住せん…にて…實現を見ん事を信ず(前津)

●棄兒 一日午後七時五十分頃京…吾人は近き將來…引渡せり

●謎の如き支那

◇宣統幼帝再び君臨せらる◇

復辟運動の段は斯の如し 某支那通談

前清朝の廢帝宣統帝は張勳將軍一派の復辟運動其の効を奏し近く再び帝位を踐ませらるゝ事となりたる旨既電の通りなり過日の北京電報に由れば滿室は能く人を天津に派して清室は決して復辟の意志などはないといふことを聲明したるが事は急轉直下して復辟の實現を見るとは實に謎の如き支那の状況を語りてあまりあり

◘宣統幼帝の現在 居る處は北京の中央皇城内である一度北京を見た人は知る通り元來北京は大城、皇城、紫禁城の三つの煉瓦の大壁に區域されて皇城外には普通の人家があり、紫禁城外には諸官衙があり、そして紫禁城内に皇居がある。詰まり宣統帝は此の城内に押籠め同樣になつて居られるのである、帝は今年十二歳になられるが殆んど紫禁城外へ出られたことはない位で、毎日

◘室内に籠つて居 られると言つても好い、そして近侍の者は尠からず居るが多くは女官で、此女官といふものは實に僅く程の人數である男としては例の滿室から言へば忠臣とも言ふべき世續氏が側に侍して常に諸問題に當つて居る學に就いては別に學校などはないので陳寶琛、梁鼎芬の兩氏が漢學を又伊克坦阿氏が滿洲語を教授して居る位で極めて舊式の教育である

◘嘗て黎元洪氏を 知る右の梁鼎芬氏が嘗て宣統帝を然る可き海外に留學させて新しい學問を教授しては、と嘗て見たことがあるが元洪氏は默々の裡に頭を左右に振つたといふことである斯いふ風で共和政府からは常に疑ひの眼を以て睨まれて居るから攝政王は勿論其他の皇族方を初め世續氏なども何事に依らず疑ひの眼を避けることに汲々として心安からぬのである此有樣であるから各皇族を初め舊臣等も宮中に伺候することを避けて全く往來がなかつた程であるしかし

▲清朝復辟の氣勢は滔々たる洪水 の如く過ぎ來りつゝありし事は爭れざる事實である曾て清朝の倒れた時一人の節に殉じた者が無かつた如何に疲弊してゐたと云へ清朝は相當の善政を施したに拘らず其の最後に於て一人の死んだ者の無いのは當時宣統帝が未だ幼少であられた爲め

◘他日の雄飛を期 して一時心ならずも其鋒を潜めてゐたのである之等の人々は何れも相當の力を有してゐる故一度び奮起すれば必ず風雲を捲き起す事は明かで爾來着々として其歩を進められつゝあつたのだ彼の徐州會議などに集まつた督軍連は悉く復辟論者で今度天津に徐世昌氏を大元帥に仰で假政府を樹立したのは愈々復辟斷行の機會に到達してゐたのであるが併し

◘彼等が公然之を 口にしないのは一面宣統帝の身の上を氣遣ふと同時に未だ發表の時期に至らなかつた爲めで早晩復辟の名乘りを上ぐるであらうと考へられてゐた而して彼等が一意國家の爲め一切の私情を去つて公平なる處置を執つたならば如何に極端なる南方派の面々と雖も然うは無暗に反對のみはしまいと思ふ彼の岑春煊氏の如きも清朝時代の大官で若し之に依つて國家を維持し得るならば縱し多少の不滿不平があつても強ひて

◘反抗の態度は執 るまい只騷ぐのは勢力の無い若い口舌の徒で之も相當に登用の途さへ開いて遣れば案外早く方が付くかも知れぬ今日の國會員の如きも極めて強硬な態度を示つてゐるが之とて何等かの職を與ふれば必ず服從するであらう即ち一方に武力を以て威壓すると共に一方に人材登用の途を開く事も肝腎である

ある僻し何分支那の事であるから若し順調に進んでも

◘却々短い時日では 治まるまいそして復辟が理想通り行はれても貧乏な支那の事故之が大整理を爲すのは實に容易な業ではない乃で段氏は動ともすれば激し易い性質であるが徐氏は頗る温厚な君子風の人であるから徐氏が裏面に立て段氏と張勳氏が之を扶けたならば目下の時局を收拾するのも決して困難ではない然し張氏は今日最も苦しい立場に陷つてゐるが最早

◘大勢の趣く處に 隨ふより他に途なく又た馮氏と雖も萬一南方派に力を合はせる時は忽ち北方派に衝かれる虞があるから之れも張氏と同じ運命に在ると見て然るべしである

◇宣統幼帝即位

幼帝今年御年十二歳(左上)幼帝を擁立して新たに政務省長兼北洋大臣となれる張勳氏(右)張勳氏と共に兵力を用ゐつゝある步軍統領江朝宗氏(左)

●其の美景、其の感慨

◦◦◦何して今日迄扶餘が忘れられたか◦◦◦

五道踏破旅行記者 春園生 李光洙

小生が泗沘城址を吊ひたるは細雨霏々たる朝、平濟塔を賞したるは夕陽正に浮山に沈まんとするの夕、暮東門外に百濟王陵及び百濟人の墓地を尋ねたるは日已に暮れて古城の烏塒に急ぐ黄昏時にて夫々一層の趣を加へたるは御推察のこと、存候。

◆只一つ遺憾なるは白馬江上の明月を見ざることなりしに昨夜偶然客舍の睡醒めて戶を排すれば碧空拭ふが如く曉月皎々たり。寢衣のまゝ躍び出で、おく露滋き草を踏みつゝ再びそのかみに歸りたる心持にて的もなく徘徊致候。其の美景、其の感慨書けば長し、只唯御推察に御任致すのみにて候。實に扶餘は『由緒ある』等の語にて形容すべくも候はず。歷史的遺蹟、又は勝景として小生が知れる限りに於いては朝鮮一と申すべきにて候。平壤は風景美なれども既に王儉の城にもあらざれば高勾麗の都にもあらず。慶州は歷史的の古蹟多けれども白馬江の美觀なし。然るに

◆今日迄扶餘の忘れられたる所以は朝鮮人に朝鮮史の知識なき所以と殘念至極に存候。幸に先年共進會當時『小原前忠南道長官の熱誠なる紹介により日本人間には大分知れ渡りたる由なるも朝鮮人には未だ扶餘の何んたるを解せざる者さへ多く恥しとも悲しとも申樣無之候。今や扶餘に保勝會の設あり道路はよし、旅館の設備あり、且憲兵分隊及び郡廳にては何くれと便宜を與へ居候へば探勝にも可なるべく修學旅行にも可なるべしと存候。

◆京城の有志方面が由緒ある土地に別莊など設けて避暑避寒の氣の利きたることをなされては如何。一言附加候。扶餘より公州街道に沿ふて約一里住里なる所には有史以前の墓地あり、先年鳥居氏とやらの鑑定によれば少くも四千年以前のものなる由にて候又同じく扶餘より青陽街道を行くこと約一里羅福里の山腹には石器時代の居住地ありて種々なる遺物發見さるる由にて候。此によれば此の附近には少くも四五千年前より住民あり

新法學士 李範昇氏 (二十七日葬儀にて)

●此の兩地は扶餘に遊ぶもの是非共訪ふべき所と存候此より扁舟に棹して白馬江を下り江景に出づべく旅裝を整へ終りて此の文を草し候。天氣晴朗著し。(六月二十七日扶餘にて)

●全北各地方の豪雨被害

三名溺死す

全北各地方にては六月二十八日豪雨の爲め平野の各部落に於ける被害少からず二十九日午前十時頃雨歇み天候恢復して萬頃江も減水するに至りしが一時は

▲增水十九尺 に達し沿岸なる益山、金堤兩郡には濁水氾濫し水田の被害夥しく益山郡大場村橋は遂に流失するに至り爲に交通杜絶せり尙全北輕便鐵道は東山裡觀間線路は水の爲め二十八日午前七時發の列車より不通となりたるが其後間もなく開通せり金堤郡白鷗面白鷗里李春權(四二)李福基(三二)の兩名は萬頃江を渡船中轉覆して溺死し全州郡助村面下月里張奇同(四〇)は水田より

▲歸途溺死し て行衞不明となれり又全州山本自動車は二十九日午前七時全州より裡里に向け運轉中助村面新德里に道路缺損の爲め轉覆し運轉手輕傷を負ひたるのみにて乘客には異狀なかりしと尙全州南原間は道路缺潰の箇所あり自動車通せず鎮安全州間は橋梁流失して交通杜絶其の他各地道路の破損橋梁の流失幾分あるべき見込みなりと

●草根木皮で露命を繋ぐ

江原道の窮民

江原道にては昨年の洪水にて本年は作物の減收に加へて旱魃打續きたる爲め農作物不良且つ近來穀類の暴騰等に依り山間の貧民は生活難を訴ふる者多く昨今蔚珍、平海、洪川、旌善等の各郡地方にては未熟の麥を採取して粉末となし少量の水を加へて食しつゝある有樣にて中には草根木皮を以て辛くも露命を繋ぎ居る者さへあり爲に營養不良に陷り顏色憔悴して勞働に從事し能はざる者さへあるに至れりと

●天井裏に木屑

奉天火災餘聞

二十七日夜火災に罹れる奉天滿鐵貸事務所の失火原因に就きては種々の説あるも今日迄猶ほ不明なるが如し唯だ茲に奇怪なるは巨大なる諸建物の三階の天井裏に多大なる木屑堆積し居りたる事にて之れは工事の當時江洲にて除去するを忘れたる者なる可きが之れ火力を早めたる事は…焼し切りたる事にて…は種々…なる者なる…有らざるの事實なりと(奉天通信)

●江原道山火事

江原道襄陽郡縣北面縣里道明洞の國有林より六月十三日午前九時頃發火し里民二百五十名出動して二十八町歩(約七千圓)を燒失して十五日午前三時消火せり▲同面漁塊里の國有林より十三日午後四時頃發火し五十餘名出動して十三町歩(二千圓)を燒失したるのみにて十五日午後七時頃鎮火せり▲華川郡看東面稔村里龍華山の國有林より六月十四日午後一時頃發火し里民三百餘名出動して消防に努め四百餘町歩(損害約二百五十圓)を燒失して十八日午前六時頃鎮火せり▲平康郡木田面瑞林里朴幸德が十五日午後一時頃自己の火田に入火したるものより延燒して附近國有林に延燒し四十一名の里民消防しるも十五町歩(損害六十五圓)を燒き十六日午前七時頃鎮火せり▲華川郡看東面看屯里國有林より十七日午後五時頃發火百二十名の農民消防し四十五町歩(損害約五十圓)を燒き十八日午後六時半鎮火せり

●不敵な掏摸少年

南咸永興郡鎮坪面生れ當時德源郡赤田面新豐里居住柳元實伊(一七)が數日前元山停車場に於て咸北鏡城郡漁浪面龍江里四統六戶李孝吉の所持金二十一圓餘を掏摸せしを發見逮捕されたるが同人は有名なる掏摸にて先年京城に於て施政五年記念共進會の折總督府警務總監部を手古摺らせたる不敵の曲者なりと

●阿片密輸入

この程清津より元山に來りし支那人趙玉安、吳兆輔、宋成福の三名は阿片密輸入の嫌疑にて監視中同人等は之れを氣付き逃走を計り夜中元山を離れて安邊に至り同地より乘車せんとする處を遂に逮捕さるゝに至れり同人等は阿片を全部體に捲き付け居たるものにて合計一貫三百目の多量に及び從來且つて見ざる多量の密輸入なりしと

最新刊

株式名義書換停止公告 來る七月十日より第十一回定時株主總會終了迄株式名義書換を停止す 大正六年七月 株式會社富國園

書名	著者	定價
龍	岡本米藏	一、〇〇
道なき道	文雄	一、三〇
新譯 緋の字	野中…	九〇
家庭改良と家庭教育	木下…	一、二〇
教育小學の根本問題と解方	松本…	一、三〇
朝鮮開墾式…	…	二、六〇
東京に於ける苦學と實驗	佐々木…	五〇
俗語大辭典	中島…	一、八〇
日本家庭榮養料理法	…	二、七〇
建築學…	…	一、二〇
心理學…	…	九〇
竹の下枝	小川直子	一、二〇
模範書簡文講話	…	一、二〇
…を破つて	…	一、三〇
東京の三十年	田山花袋	一、五〇
日本婦人の心得	…	一、〇〇
光源氏の一生	高…	六五
漫畫道中記	一路	六〇
琵琶名曲集	永田錦心	八〇
諸芭蕉談	西大路文暁	五〇
おとなの…	佐々木邦	七〇
日本世界見物	…	一、二五

大阪屋號書店 京城本町一丁目 電話…振替京城二五七三番

賀 京城黄金町二丁目入(永樂町停留所北) 堀佐營業所 電話六三九番

京日案内 (番外一圓前金 …)

▲信用絶大▼ 古本 古樂器買受ツツボヤ書店 電二五二七振二二一二 221

…一名至急募集 確實保證人を要す 電話一八五番へ 232

若手職人大ケ生政治 希望者は雇人令關係なし 京城化製所 京城養兎園 233

有給外交員數名募集す希望者履歷書携帶本人來談あれ京城花園町一二番地 中央金物新報朝鮮支社 234

看護婦又は見習看護婦至急入用 旭町一丁目一番地 酒井醫院 231

男女事務員及地方支局長募集履歷書携帶本人來談 京城吉野町一の一二 帝國新報京城支局 二七 新開支社 229

雜貨店員入用 但十六歲以上廿歲迄身元保證を要す本人來談の事 マエノ商店 235

看護人至急募集 希望者は本人來談あれ但市内確實なる保證人を要す 明治町二丁目 町田新聞部 225

代診看護婦見習採用希望者は履歷書送附ありたし 王泉町 齋藤病院 207

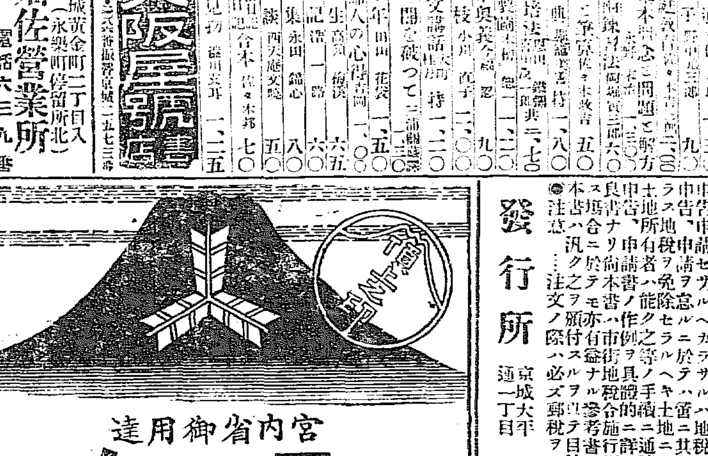
生後三ケ月男子預乳有る方に預けたし希望者は通知又は來談ありたし 京城本町四丁目櫻井町入 石橋 209

番外

恩給年金 五年分迄立替月利一歩二厘手數極安 三年分迄無保險 山口屋 京城南大門外 京義線沙里院 西鮮支店 御成町 廣川商店 230

太平町二丁目 遠藤醬油店向側入る 鑛物各種分析 松永分析所 (電話二八二三) 200

玩具卸商 織田東洋館 京城本町一丁目 電話二六九八番 振替京城二五六七番 薄利多賣出荷迅速は弊店の特色



宮内省御用達 三ツ矢 サイダー 平野水 コロナ 帝國鑛泉株式會社

朝鮮總督府度支部編纂 (日鮮文) 地税令施行規則ニヨル土地ノ異動申告申請等ニ關スル手續 全 定價七錢 郵税二錢

土地所有者カ其ノ所有地ヲ分割、合併又ハ地目變換シタルトキ、林野等ヲ開墾シタルトキ其ノ他土地ノ形状又ハ用ニ共シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ所轄郡又ハ島司ニ申告スヘキ申請ヲ要ス… ◎本書ハ汎ク注文ニ應ス…

發行所 京城大平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番 電話六〇〇番

營業品目 肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、星印配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料 石鹼部 化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、炭曹達 京城東大門外紅葉町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番 京城岡崎町一四番地 朝日石鹼製造所 電話二五六四番 振替口座京城二〇四番

葵印 年産額八十四萬函 窓硝子 三等品 舶來品ニ比シ一層優良ニテ御邸宅用ハ是非此品ニ限ル 四等品 從來輸入ノ品ト同一ニシテ通常舶來ト稱シ需用最多シ 五等品 即チ松印ハ經濟向ニ限リ御使用ヲ乞フ 兵庫縣尼崎市 旭硝子株式會社

花匠（はなかたみ）　松田竹の島人作

（四三）

お豊は何程も薄い唇を綻して

「それから乳母さんが、御機嫌に貴女様のことを、何んかんと惡るく申上げたらしうございます。御子様は御正直なもんですから、それを眞實に遊ばして、今ではお琴に御懐きに爲つて、奥様のことッたら、一と口も御尋ねなさらないんでございますよ。乳母さんがお孃様の御傍に居ない時に、そつとお琴のことを惡るく申上げましたら、お母様が默つて何處かに往つて了つたから厭やな人、鎌倉の伯母さんの方が餘程善いッてお琴のことを仰るんでございますね。」とお豊は死も親切らしく言ふ。

「眞個に有難ふよ。然う眞から思つてくれるものはお前一人だよ。」と京子は、お豊の眞個の心の底は知らないで、泌々と其眞心に感じたらしく言ふ。

京子は、自分が此處にゐることは田淵より外に知つたものはないのに、お豊が什麼して知つて來たか、それが不審でならなかつたから、お豊に逢ふて直ぐ訊いてみると、話談が縺み入つて、それからそれと枝葉に渉つて、未だ其事を聞かなかつたゞと思つて、

よ」

「花枝が其麼ことを言つて〻」

京子は、花枝のことに就いても、田淵の好い加減な造り言をいつてるのだとばかし思つてゐたが、今お豊から聞いて、これも父眞實だと信じて、家出した自分は、現在の子の花枝からまでも愛想をつかされてゐるか、それといふのも彼のお琴の爲めだと、口惜しいのと悲しいとが交々胸へ込み上げて來る。

「奥様が居らつしたら、自分から御暇を戴かなかつたら、一生御暇なんか御出しに爲らないだらうと思ふと、口惜しくつて口惜しくつて、愈泣いたんでございますよ。貴女様には一と方ならない御恩に爲つてゐるんですから、什麼かして居らつしやるところを知つて、縦令御給金なんか戴かなくつても、御傍で御用を足して御恩報じを致したいと存じましてね」

「豊は、妾が此處に居ることが什麼して分つて？随分秘密に爲てるのだから決して知ッこはない筈だがね」

「それはあの何んでございますよ。田淵さんから伺つたのでございまして……」とお豊は言つて、意味ありさうに京子の顔を凝乎と見た。それは田淵と言ふたら、京子が甚麼擧動を爲るかと思つたからであつた。

京子は田淵と聞いて、既に變はれたやうな感じが爲た。

「丁度何んでございました。妾が御暇に爲つて、愈々上根岸の御宅を出て、御門のところまで參りますと、向ふから田淵さんが往らつしたのでございますよ。妾が荷物を載せた人力車に付いてゐるんもんですから、變に御思召したと見ゑまして、何處へ往くのかと御訊きに爲つたんで、實はこれ〳〵の理由ですが、奥様が居らつしやると、頂度ことはないし、什麼か爲て、奥様の居らつしやるところを捜し出して、御恩報じを致さなけりやなりませんと申上げると、感心だつて田淵さんが褒めて下さいまして、然ういふ心なら、奥様の居らつしやるところを敎へて遣ると仰つて、此處を敎へて下さいましたものですから、直ぐ飛んで參つたのでございますよ。眞個に彼の方は御親切でゐらつしやいますねえ。」

「餘り然うでもなからうよ。」

「左様でございますか。でも敎へて下すつたのは、御親切ぢやございませんか？」とお豊は、京子の顔色を窺ふやうに見詰めた。

豆成金　北海道に流行

◇神戸 大阪には船成金が多いが北海道には豌豆成金が多い、青豌豆は洋食に必ずなくてはならぬ品であるから戰爭前英佛での供給は多く露國に仰いで居た處が

◇近來 露國があんな風になつたので北海道ものが盛んに輸出するので北海道の旭川では一石八圓の青豌豆が天井見ずに十倍の一石六十圓に暴騰したそれで旭川附近は打つて變つての繁昌となり百姓は叺人の勢力を奪て肩で風を切るの有樣となつた

◇風體 の如何にも怪しい男が全盛遊びをするから、警官が調べて見ると、怪しい男はニヤリと笑つて『おメーさん此の頃の青豌豆の値段を知つて居るかい』と來る、怪しい男は百姓なのだ

◇それ で北海道では『豆の相場を知つて居るか』といふ言葉が成金熱病者の間に流行して居ると同地からの通信にあつた

一日一句

官舎町や北山夏がすむ見ゆる　鳥兎

新しき光りを夏帽子が暴らさと　黄丘

空曇り栗の花に蜂の慌し　瀬村

◎送別句筵吟

杉先生老父の業を扶ければならぬので扶桑に去つた吟社に取つては死苦子の依然として投吟すると同時に更に鵬嶺、有常、一水、宗隣、酒川、石楠の六氏を加へしは又吾々の領域か廣くなつた樣な氣がして隨順の自然なるに喜ばしく思ふのである（六月十二日山城吟社）

撫子や詫解つげし土佐日記　女弥
水打てば石風起す魔哉　同
夏山や白衣に光る神輿昇　同
撫子に誘はれ〻女と出て〻行く　孤秋
撫子に處女なりし時の写眞見る　同
蛾の塔静なりけり雨意ありて　同
夏川や宮司の銀世に碑し　来刀
打水や向ひ合せの水茶屋　同
撫子に走り來し犬水を飲む　空堂
蜻蜓と樹肌の蟻や賛子茶屋　同
撫子や河原に石を拾ふ人　方外
急坂を見上て行手や夏の山　同
夏山に閑居の僧や豆を炒る　さた女
爪嚙る子の辯卑し撫子に　同
撫子や獨住居の女輪師　鵝城
夏山や何鳥が來て砂浴びる　奇石
夏山の上を蝶舞ふ晝午哉　神花
深淡に登の河鹿や夏の山　柱川
雲一つなくて暮れけり夏の山　一佛
湯上りや星一つ見いて夏の山　悠々
夏山や低きにありて松の花　鵬嶺
懸崖に撫子強き清水哉　有常
撫子や鉄の下に伝れざる　一水
内房のあからさまなり羽蝶飛ぶ　宗隣
桑を摘む人の上飛ぶ羽蟻哉　酒川

夏山や灯ともし早き谷の家　石蒲
品川やつく〲の水を打つ　同
打水の石に蝸の打つ心　先

送別

紅蓮落つるに悲しと見えら月日なり　友弥
敎道火の風に明ぶや別れ酒　來刀
帷茶屋に新茶淹しく向を送る　空堂
自扇や君が殘せし酒の痕　方外
古扇慕ふ師の蔭に添ひて百合の花　奇石
清水掬む君待つ給へ待ち給へ　雲水
此後の句會淋しや青鬼灯　さた女
師を送る時に聞くや閑古鳥　鵝城
初給袖下冷しく師の分れ　一川
情籠めて君を郷土に日見送　柱佛
短夜に語り盡せし別れ哉　悠々
振向きて行く送まん夏の月

山城吟社第三期に入る

留別

競べ舒びて若竹風な恐れざる　先

更衣して更衣の人に別れけり　先

◎帝風會即吟

一日午後七時より本町三丁目の佃居一萍師匠の樓上に於て鵠風會の例會が催されて即吟會を開いた左に掲ぐるのは其一斑である

孫の手に引きさつ引かれ佛生會
郷抜きや京の名代の花の露
庭掃きに觸れざりしか牡丹哉
名も知らぬ花の夢さく佛生會
富貴とは見ゆる牡丹の盛り哉
蝶這ふて盛りの牡丹哉
佛生會稚兒の晴姿さぬ
小仕所に思ひ掛けたる牡丹哉
牡丹花に一句認めて長くつゞり
庭十歩牡丹に續く蔭哉
子子子思ひけん牡丹哉
花影に寧の限りつ牡丹哉
人小庭敷は一輪で見る牡丹哉
地ほめ調ざて貫く花は牡丹哉
天子子の散になき花の浮き

◎蟬

自重なき蟬は日北会に集りけり
汗拭ふ野邊の大樹の蟬鳴き
兩晴れて一際高き蟬の聲
滿洲の空に騒がし蟬の聲
一風を入れ〻梢に蟬の聲
待ち殘る庭の大樹の蟬の聲

◎太靈道の發展

東京市麹町區一番町四二中守平氏宣傳に係る太靈道は、近來著しき發展を遂げ、目下東京に在りて上流智識階級者の間に非常の勢力を有するに至り、更に英、米、佛の各外國人も太靈道の思想の高遠なると靈子術の作用の玄妙なるとに誘惑して續々入門する者甚る多しといふ、因みに來る七八兩月には夏期特別大講授會を開催する由、機關誌『靈界時潮』は請求次第誰人にも無代御贈するとの事也

涼み臺

▲殊勝な外國人 此の程陸軍士官學校の佛蘭西語の講師となつた羅馬尼人フランソア君は獨逸軍が同國ワレーキアを侵略した際身を以て遁れて來た學者である▲此人横濱の某外國人に通ひて佛蘭西語を敎へ一時間廿圓一週三時間の割で月に二百四十圓宛貰つて居るが士官學校の方はそれよりずつと時間の多いにも拘はらず一月僅かに百圓の手當しか貰つて居ない▲併し當人は身を救つて呉れた日本の恩を忘れずに『これも御國の爲めなら大いに滿足です』と仕事に精出して居るとは近頃殊勝な外國人

▲望月氏を通辯拔 望月小太郎さんが御商賣柄英語の巧いことは言ふまでもない演説の中にも盛んに出る曾て政友會の竹越三叉氏もそれで衆議院では好一對とされた▲桂内閣の時であるが望月さんは初めて逐鹿場裡に美事鹿を射止め新鋭の知識をたつぷりと日比谷に驅付けて頻りに能辯を揮つたものだが其間に頻りと例の英語が交る▲時の陸軍大臣は今の内閣の朝長兒玉伯の御親父さん源太郎閣下である後で望月さんに會た時「やあ君は通辯でもして居たのかい」こんな調子を呑んでかゝるので兒玉さんは仲々偉いといはれたさか

▲稍縮少す

滋養強壯料

芳香醇良なる本邦産天然葡萄酒を基礎とし完全なる吸收性及同化性を併有せしめたる

◎ミツワ規那鐵葡萄酒

香味色佳良滋養力偉大

健胃補血興奮作用卓絶

MITSUWA
規那鐵葡萄酒
丸見屋商店

（印品商寫圖）

定價 一瓶 一圓五十錢 内地以外は關税運賃を加ふ

規那、鐵及葡萄酒は各健胃、補血、興奮、強壯劑の諸効驗を兼ぐるものにして、殊に此の三者を配合して、所謂規那鐵葡萄酒となし、食事に際して之を服用せしむれば、三者を容易に且つ愉快に用ふることを得て、何れも確實に消化吸收せられ、其の効價の愈々大なることは既に公知の事實に屬す、さ難其の製法不當なる結果、往々其の品質不良なるもの、不快なる結果を生ずることを免れざる。故に、本品は歐米に於ける諸種の製品並に最新の學説に就て調査研究を重ね、山梨縣産の有効なる規那鐵を用ひ、純良なる天然の葡萄酒を基礎とし、人造着色料を用ひず、純良有効なる規那鐵を適當の操作を以て配合し、容易に攝取する愛好せらるゝ滋味を具へ、人造着色のなきが故に、容易に攝取するを得るも食慾を喪失せしむることなく、健胃、補血、強壯の効力を有するものにして、貧血より起る神經衰弱、ヒステリー、慢性の胃腸病、病後産後の衰弱、一般の虚弱者に際して適用すべき滋養的飲料たると同時に、精神の困憊、身體の疲勞を回復し、元氣横溢精力増進を欲する場合に推奨すべき絶好の家庭必需品なり。

▼如斯人は滋養強壯料◎ミツワ規那鐵葡萄酒を適用すべし▲

一、貧血して居る人
一、營養の不足なる人
一、顔色蒼褪め艶の無い人
一、生來虚弱なる人
一、是と云ふ病は無くても何となく弱く虚弱に罹り易い人
一、手足が冷えて寢つかれぬ人
一、やうたい疲れ易い人
一、病後や産後の衰弱な早く回復したい人

一、食慾の進まれ人
一、勉強又は勞働して疲れた人
一、神經や筋骨の疲勞を速に回復したい人
一、精力が減り元氣の無い人
一、腺病質で難病に罹つて居る人
一、肺結核や腸結核其の他諸種の慢性病の病後に發熱の永く續いて居る人

一、下痢の永く續いて居る人
一、神經衰弱に罹つて居る人
一、陰萎や遺精など生殖器神經衰弱に惱んで居る人
一、ヒステリー俗に謂ふ血の道に襲はれて居る人
一、ヒポコンデリー俗に謂ふ心氣病に苦んで居る人
一、萎黃病など血液の病に侵されて居る人

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials by thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may *affirm it without* exaggerations, are the most efficacious remedies for regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism.

The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual.

Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and moreover, easy to be absorbed and assimilated. Price ¥ 1,50.

▲賣捌＝全國到る處の洋酒食料品店。藥舗。雜貨店▼

ミツワ石鹼
ミツワ家庭藥
肝油ドロップス

發賣元 ◎

登録商號 東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
丸見屋商店
電信略號 ツミヤ……振替口座東京七一〇〇番
營業部電話浪花三〇・四四八・四四九・四五〇〇番

代理店
洋酒、鑵詰
醬油、味噌 問屋
合名會社 國分商店
東京市日本橋際
電話特浪本局 九七二・一四六〇・二〇八〇・三〇八〇・三六一六番
振替東京二〇二八

代理店
洋酒、食料品、煉乳、賣藥
化粧品、雜貨、直輸出入商
松下善四郎
大阪市東區高麗橋貳丁目
電話本局一八五・一八六・一八二〇番
電信略號 マーツセ
振替口座大阪一二六番

尼崎汽船仁川出帆

仁川出帆 木浦、釜山、下關、神戸行

○若か代丸　七月八日後四時出帆
○大有丸　七月四日後四時出帆
○秀吉丸　七月　日後四時出帆
○神代丸　六月　日後四時出帆

仁川港濱通三丁目　尼崎回漕部

日本郵船仁川出帆

○大連行、太沽(天津)行
相模丸　七月廿六日正午出帆
高砂丸　七月五日正午出帆
三河丸　七月十五日正午出帆

仁川港濱町　郵船回漕店

大阪商船仁川出帆

◎神戸、大阪行
△臺東丸　七月十四日
×油頭丸　七月四日
△南部丸　七月二日　後二時出帆
◎神戸、大阪行
×木浦、釜山、油頭丸　七月十日
×安東丸　七月廿一日　後二時出帆
×安東丸　七月十三日　正午出帆
○横濱行
×濟州丸　七月廿七日
△福州丸　七月　日　後二時出帆
◎南浦行
△臺州丸　七月十一日　正午出帆
△福東丸　七月　日
◎鎭南浦、大連行
×安東丸　七月八日
△安東丸　七月廿六日　後二時出帆
◎大連直航
×濟州丸　月　日
△福州丸　月　日　正午出帆
◎西湖津新浦城津清津行(元山出帆)
宮島丸　七月十日　後十二時出帆
◎清津行(元山出帆)
安平丸　七月二日　後十二時出帆
◎上海、芝罘、打狗行(大連出帆)
湖北丸　七月廿三日　前四時出帆
基隆丸　七月六日　後四時出帆

御注意 切符發賣所
大阪商船會社仁川支店　電話一二番・二〇番・五五・五八番
切符發賣所　内國通運會社京城支店　電話七〇八番
切符發賣所　仁川京城通り　開豐旅館　電話二六一番

朝鮮郵船出帆

京城南大門通 松原運送店（電話長七〇番）

○京畿丸　七月十四日
○柳川丸　七月二日
○咸鏡丸　七月九日
　七月十九日　釜山發
○穩城丸　七月三日
○三浦丸　七月七日
○鏡城丸　七月　日　元山發
○慶興丸　七月二日　釜山發
○德盛丸　七月三日　釜山發
○江陵丸　毎日　浦項發
○張陽丸　七月　日　釜山發
○昌平丸　七月七日　釜山發
○濟州丸　毎日　釜山發
○統營丸
○平壤丸　七月五日　元山發
○順天丸　三日目毎に　木浦發
○南陽丸　七月　日　木浦發
○全海丸　七月七日　木浦發
○金海丸　七月二日　木浦發
○公州丸　七月四日　木浦發
○麗水丸　七月三日　仁川發
○晉州丸　七月九日　仁川發
○宗信丸　七月　日　仁川發
○全羅丸
○錦江丸　毎日午前　仁川發